

福島県内遺跡分布調査報告 31

2025年3月

福島県教育委員会

福島県内遺跡分布調査報告31

序 文

福島県教育委員会では、地域の宝である埋蔵文化財を保護するため、複数市町村にまたがる広域の開発事業等の計画に伴い、遺跡の分布調査及び試掘・確認調査を実施しています。その結果を踏まえて、関係機関と埋蔵文化財の保存協議を行うことで、円滑な開発事業と適切な埋蔵文化財保護の両立を目指しています。

本報告書は、令和5年度に実施した分布調査及び試掘・確認調査の結果をまとめたものです。

試掘・確認調査は、地域高規格道路（会津縦貫北道路）建設、地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設、国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業、阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）、一級河川桜川広域河川改修事業に関連して実施しました。その結果、3箇所で埋蔵文化財を確認し、調査成果を埋蔵文化財保護のための協議資料とすることことができました。

この報告書が、埋蔵文化財保護のための資料にとどまらず、地域の歴史を解明するための基礎資料となり、広く県民の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査にご協力いただいた当該市町村教育委員会をはじめとする関係機関、関係各位に深く感謝の意を表します。

令和7年3月

福島県教育委員会

教育長 大沼 博文

緒 言

1 本書は、令和5年度に実施した地域高規格道路会津縦貫北道路、同会津縦貫南道路、国道4号泉崎・矢吹地区事故対策、阿武隈川上流大規模災害関連(遊水地)、一級河川桜川広域河川改修の各事業予定地内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地(試掘調査により遺跡の存否を確認する地点)の試掘・確認調査、並びに阿武隈川上流大規模災害関連(遊水地)、一級河川桜川広域河川改修、(仮称)大滝山風力発電、磐越自動車道4車線化の各事業に係る分布調査の報告書である。

2 この調査は、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助を受け福島県教育委員会が実施した。

3 福島県教育委員会は、調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託した。

4 福島県教育委員会は、この調査にあたり下記の職員を配置した。

専門文化財主査　轡田　克史

5 公益財団法人福島県文化振興財団は、下記の職員を配置して調査を実施した。

専門文化財主査　國井　秀紀

文化財主事　　安田　楓加

6 本書は、福島県教育庁文化財課職員及び公益財団法人福島県文化振興財団(遺跡調査部県内遺跡分布調査担当)の職員が執筆した。

7 調査にあたっては、地元地権者・地権者会・行政区長をはじめ下記の機関に多くの協力をいただいた。

会津若松市教育委員会　下郷町教育委員会　泉崎村教育委員会　矢吹町教育委員会

三春町教育委員会　郡山市教育委員会　玉川村教育委員会　鏡石町教育委員会

会津坂下町教育委員会

国土交通省東北地方整備局(福島河川国道事務所　郡山国道事務所)

福島県土木部(会津若松建設事務所　南会津建設事務所　県中建設事務所)

JR東日本エネルギー開発株式会社　ネクスコ東日本

8 事業名称が長いものは、一部省略した表現を用いた。

9 本書に使用した調査記録は、福島県教育委員会が保管している。

用 例

1 本書における用例は次のとおりである。

- (1) 周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/25,000の地形図(柳津・坂下・会津広田・田島・関都・山潟・郡山・三春・母畑)及び1/50,000の地形図(須賀川)を、事業の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/200,000の地形図(福島・日光)を複製したものを使用している。
- (2) トレンチ配置図は、各事業主体作製の縮尺1/2,000の地形図を基とした。

2 本書第2章における周知の埋蔵文化財包蔵地、埋蔵文化財包蔵推定地及びトレンチ配置図の用例は次のとおりである。

- (1)  : 保存協議を要すると判断した範囲
- (2)  : 未試掘範囲
- (3)  : 未確定範囲
- (4)  : 周知の埋蔵文化財包蔵地として取り扱わないと判断した範囲
- (5)  : 遺構・遺物が確認できたトレンチ。また、L I 及び攪乱から出土した遺物については、二次堆積の可能性があるため除いた。
- (6)  : 遺構・遺物が確認できなかったトレンチ
- (7)  : 工事予定範囲
- (8)  : 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲
- (9)  : 分布調査による埋蔵文化財包蔵推定地の範囲

3 埋蔵文化財包蔵推定地の名称は便宜上アルファベットの「B」と算用数字を組合せて表記するが、試掘調査によって遺跡であることが確定すれば所在地の字名や地名をとり、新たに遺跡名称を付している。

4 各遺跡の呼び方は、『日本地名大辞典7福島県』(角川書店)収録の「小字一覧」にならったが、通称が定着しているときは、それに従った。

5 遺構図の用例は次のとおりである。

- (1) 平面図の縮尺は、基本的に各挿図版の右下(スケール右側)に記した。
- (2) 検出した遺構は、網点で表示した。
- (3) 土色の判定に際しては、『新版標準土色帖』(日本色研事業株式会社)を用いた。

6 本書で使用した略号は、次のとおりである。

T : トレンチ	L : 遺構外堆積土	ℓ : 遺構内堆積土	S I : 壺穴住居跡
S K : 土 坑	S X : 性格不明遺構	P : 小 穴	S H : 遺物包含層
AW : 会津若松市	C G : 下郷町	I Z : 泉崎村	Y B : 矢吹町
M H : 三春町	C Y : 郡山市	T G : 玉川村	K I : 鏡石町
K D 4 J : 国道4号	Y S : 遊水地	F R : 風力発電	S G : 桜川

目 次

第1章 県内遺跡分布調査の概要	1
第2章 試掘・確認調査	5
第1節 地域高規格道路（会津縦貫北道路）建設予定地	5
1 会津若松市の遺跡	
上吉田C遺跡（6） A W-B 8（8） A W-B 9（8） A W-B 10（8）	
第2節 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地	12
1 下郷町の遺跡	
C G-B 14（12）	
第3節 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業予定地	13
1 泉崎村の遺跡	
I Z-K D 4 J. B 1（14）	
第4節 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）予定地	15
1 矢吹町の遺跡	
小松館跡（16） 後原遺跡（16） Y B-Y S. B 1（18） Y B-Y S. B 2（20）	
第5節 一級河川桜川広域河川改修事業予定地	20
1 郡山市の遺跡	
沖田遺跡（21）	
第3章 分 布 調 査	22
第1節 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）予定地	22
1 玉川村の遺跡	
百八横穴古墳群（22） 臥龍城跡（28）	
第2節 一級河川桜川広域河川改修事業予定地	30
第3節（仮称）大滝山風力発電事業予定地	31
第4節 磐越自動車道4車線化事業予定地	34
第4章 総 括	36

挿図・表・写真目次

[挿 図]

図1	県内遺跡分布調査位置	1
図2	地域高規格道路(会津縦貫北道路)位置	5
図3	上吉田C遺跡(2・3次)トレンチ配置	7
図4	上吉田C遺跡(2次)土層、検出遺構、出土遺物	7
図5	AW-B8(2次)トレンチ配置	9
図6	AW-B9(2次)トレンチ配置	10
図7	AW-B10トレンチ配置	11
図8	地域高規格道路(会津縦貫南道路)位置	12
図9	CG-B14トレンチ配置	13
図10	国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業位置	13
図11	I Z-KD4J. B1トレンチ配置	14
図12	I Z-KD4J. B1土層、検出遺構	14
図13	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)位置	15
図14	小松館跡トレンチ配置	16
図15	後原遺跡、YB-Y S. B1(2・3次)・B2(1・2次)トレンチ配置	17
図16	後原遺跡土層、検出遺構、出土遺物	18

[表]

表1	地域高規格道路(会津縦貫北道路) 試掘・確認調査遺跡一覧	2・3
表2	地域高規格道路(会津縦貫南道路) 試掘・確認調査遺跡一覧	2・3
表3	国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業 試掘・確認調査遺跡一覧	2・3
表4	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業) 試掘・確認調査遺跡一覧	2・3
表5	一級河川桜川広域河川改修事業 試掘・確認調査遺跡一覧	2・3
表6	上吉田C遺跡(2・3次)トレンチ一覧	6
表7	I Z-KD4J. B1トレンチ一覧	14
表8	後原遺跡トレンチ一覧	16
表9	YB-Y S. B1(2・3次)トレンチ一覧	20
表10	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業) 関連遺跡一覧	24

[写 真]

1	上吉田C遺跡全景	6
2	上吉田C遺跡 30T土坑検出	6
3	I Z-KD4J. B1 東部現況	15
4	I Z-KD4J. B1 5T小穴検出	15
5	後原遺跡 2T土坑断面	16
6	YB-Y S. B1 42T性格不明遺構	20
7	YB-Y S. B1 62T堅穴住居跡	20
8	百八横穴古墳群 遠景	25
9	百八横穴古墳群 6号横穴墓	25
10	百八横穴古墳群 25号横穴墓	25
11	百八横穴古墳群 25号横穴墓奥壁	25
12	百八横穴古墳群 26号横穴墓	25
13	百八横穴古墳群 44・45号横穴墓	25
14	臥龍城跡 遠景	29

図17	YB-Y S. B1(2・3次)・後原遺跡 土層、検出遺構、出土遺物	19
図18	一級河川桜川広域河川改修事業位置	21
図19	沖田遺跡トレンチ配置	21
図20	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)位置と 遺跡・遺跡推定地	23
図21	百八横穴古墳群横穴墓分布位置	26
図22	臥龍城跡縄張図・出土遺物	28
図23	一級河川桜川広域河川改修事業位置	30
図24	一級河川桜川広域河川改修事業予定地と 遺跡・遺跡推定地	31
図25	(仮称)大滝山風力発電事業位置	32
図26	(仮称)大滝山風力発電事業の遺跡・遺跡推定地	32
図27	磐越自動車道4車線化事業位置	34
図28	踏瀬熊ノ森遺跡の範囲	41
図29	百八横穴古墳群・臥龍城跡の範囲	42

表11	百八横穴古墳群 横穴墓一覧	27
表12	一級河川桜川広域河川改修事業関連遺跡一覧	31
表13	(仮称)大滝山風力発電事業関連遺跡一覧	33
表14	地域高規格道路(会津縦貫北道路)整備事業関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧	36
表15	地域高規格道路(会津縦貫南道路)整備事業関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧	37
表16	国道4号泉崎・矢吹地区事故対策関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧	38
表17	阿武隈川大規模災害関連事業(遊水地事業)関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧	39
表18	一級河川桜川広域河川改修事業関連 試掘・確認調査対象遺跡成果一覧	40
表19	埋蔵文化財包蔵地(新規・変更)一覧	41

15	臥龍城跡 1号虎口	29
16	臥龍城跡 1号堀跡	29
17	臥龍城跡 1号平場	29
18	KI-Y S. B3全景	29
19	KI-Y S. B4全景	29
20	原作田遺跡群東部	29
21	高原遺跡北部	29
22	YB-Y S. B3全景	30
23	TG-Y S. B4全景	30
24	びわ首沢遺跡南部近景	33
25	CY-FR. B7南部近景	33
26	CY-FR. B8南部近景	34
27	CY-FR. B10南部	34

第1章 県内遺跡分布調査の概要

令和5年度は、5事業(2市2町1村)についての試掘・確認調査(計11箇所、114,970m³)、及び4事業(1市4町1村)についての分布調査(計24箇所、593,000m³)を実施した。

試掘・確認調査

[地域高規格道路(会津縦貫北道路)整備事業]

会津若松市における計画地内の4箇所、計48,400m²の周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。その結果、上吉田C遺跡で遺構・遺物を確認し、遺構が確認された範囲(600m²)について保存協議を要する範囲とした。

[地域高規格道路(会津縦貫南道路)整備事業]

下郷町における計画地内の1箇所、9,370m²の埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘調査を実施した。その結果、遺構・遺物は確認できなかった。

[国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業]

泉崎村における計画地内の1箇所、4,200m²の埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘調査を実施した。その結果、遺構・遺物を確認し、その範囲(2,000m²)について保存協議を要する範囲とした。

〔阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)〕

矢吹町における計画地内の4箇所、計50,400m²の周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘・確認調査を実施し、後原遺跡及びY B-Y S. B 1で遺構・遺物を確認した。この範囲については、部分的な調査であるため、今後の調査が進展した段階に保存範囲を判断することとした。

[一級河川桜川広域河川改修事業]

郡山市における計画地内の1箇所、計2,600m²の周知の埋蔵文化財包蔵地を対象に確認調査を実施した。その結果、流れ込みと考えられる遺物がわずかに出土したが、遺跡として扱わないことと判断した。

分布調查

〔阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）〕

鏡石町・玉川村・矢吹町における阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)予定地に伴う580,000m³について分布調査を実施した。その結果、鏡石町で周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所(念仏坦遺跡)を確認し、新たに埋蔵文化財包蔵推定地3箇所(KI-Y S. B3・B4・B5)を設定し、埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(KI-Y S. B2)の範囲を拡張した。また、玉

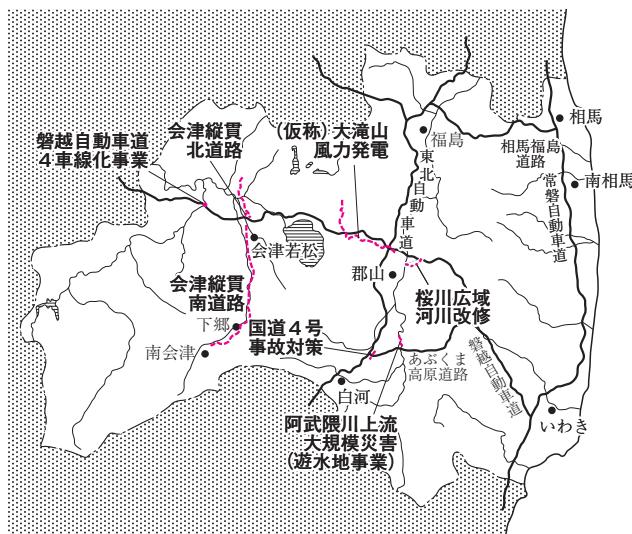


図1 県内遺跡分布調査位置

表1-1 地域高規格道路（会津縦貫北道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	令和5年度調査		
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)
上吉田C遺跡 (2・3次)	会津若松市高野町上高野字村西	水田	(2次) R5.4.10～4.14 (3次) R5.11.13～12.8	18,600	12,000 2,700	32 10	488.3 200.0
AW-B 8 (2次)	会津若市町北町中沢字中地	水田	R5.11.13～12.8	23,400	1,000	2	40
AW-B 9 (2次)	会津若市町神指町榎木壇・町北町中沢字向川原	水田	R5.11.13～12.8	34,400	23,300	37	648
AW-B 10 (1次)	会津若松市神指町高瀬	水田	R5.11.13～12.8	20,100	9,400	14	230.5
地域高規格道路（会津縦貫北道路）（会津若松市）	合 計 (1)			96,500	48,400	95	1606.8
							3.3%

表2-1 地域高規格道路（会津縦貫南道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	令和5年度調査		
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)
C G-B 14	南会津郡下郷町落合	山林・荒地	R5.7.3～7.7	9,370	9,370	25	302.3
地域高規格道路（会津縦貫南道路）（下郷町）	合 計 (2)			9,370	9,370	25	302.3
							3.2%

表3-1 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	令和5年度調査		
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)
I Z-K D 4 J. B 1	西白河郡泉崎村踏瀬	畑	R5.6.5～6.7	6,000	4,200	7	138
国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業（泉崎村）	合 計 (3)			6,000	4,200	7	138
							3.3%

表4-1 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	令和5年度調査		
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)
小松館跡	西白河郡矢吹町陣ヶ岡	水田	R6.2.19～3.15	9,000	2,000	8	127.5
後原遺跡	西白河郡矢吹町谷中	水田・畑	R6.2.19～3.15	78,000	19	342	3.2%
Y B-Y S. B 1 (2・3次)	西白河郡矢吹町谷中・中沖・東川原	畑・水田・荒地	(2次) R5.10.23～10.27- (3次) R6.2.19～3.15	100,000	40,100 13 6		937.4
Y B-Y S. B 2 (1・2次)	西白河郡矢吹町東川原	水田・畑	(1次) R5.10.23～10.27- (2次) R6.2.19～3.15	60,000	2,500 5,800	3 7	60 105
阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）（矢吹町）	合 計 (4)			247,000	50,400	56	1,571.9
							3.1%

表5-1 一級河川桜川広域河川改修事業試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内面積 (m ²)	令和5年度調査		
					対象面積 (m ²)	トレンチ 本数	掘削面積 (m ²)
沖田遺跡	郡山市喜久田町北小泉	荒地	R5.12.13～12.20	5,300	2,600	9	83.7
一級河川桜川広域河川改修事業（郡山市）	合 計 (5)			5,300	2,600	9	83.7
							3.2%

令和5年度試掘・確認調査遺跡 総合計 (1)～(5)	364,170	114,970	192	3702.7	3.2%
-------------------------------	---------	---------	-----	--------	------

表1-2 地域高規格道路（会津縦貫北道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	令和5年度調査結果			取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物					
上吉田C遺跡 (2・3次)	土坑（古代）	須恵器・石鎌・クルミ	保存あり	600	3,100		
AW-B 8 (2次)	なし	なし	保存なし	0	14,100		
AW-B 9 (2次)	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了	
AW-B 10 (2次)	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了	
地域高規格道路（会津縦貫北道路）（会津若松市）	合計（1）			600	17,200		

表2-2 地域高規格道路（会津縦貫南道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	令和5年度調査結果			取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物					
CG-B 14	なし	なし	保存なし	0	0		
地域高規格道路（会津縦貫南道路）（下郷町）	合計（2）			0	0		

表3-2 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	令和5年度調査結果			取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物					
I Z-KD 4 J. B 1 土坑・小穴・遺物包含層	土師器（古墳時代）	保存あり	2,000	0			
国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業（泉崎村）	合計（3）		2,000	0			

表4-2 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	令和5年度調査結果			取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物					
小松館跡	なし	なし	保存なし	0	0		確認調査終了
後原遺跡	土坑・小穴（中世）	銭貨	保存あり	未確定	120,700		
Y B-Y S. B 1 住居跡・性格不明構造・小穴・繩文土器・土師器・須恵器・剥片 (2・3次)	遺物包含層（古墳）	保存あり	未確定				
Y B-Y S. B 2 (1・2次)	なし	なし	保存なし	0	51,700		
阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）（矢吹町）	合計（4）		172,400				

表5-2 一級河川桜川広域河川改修事業試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	令和5年度調査結果			取扱い	保存面積 (m ²)	未試掘面積 (m ²)	備考
	遺構	遺物					
沖田遺跡	なし	縄文土器	保存なし	0	0		確認調査終了
一級河川桜川広域河川改修事業（郡山市）	合計（5）		0	0			
令和5年度試掘・確認調査遺跡 総合計（1）～（5）				2,600	189,600		

川村では周知の埋蔵文化財包蔵地6箇所(百八横穴古墳群、臥龍城跡、原作田B・C・E遺跡、高原遺跡)を確認し、新たに埋蔵文化財包蔵推定地2箇所(TG-Y S. B3・B4)を設定した。また、矢吹町では新たに埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(YB-Y S. B3)を設定した。この他、玉川村では、埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(TG-Y S. B1)の範囲を拡張した。

[一級河川桜川広域河川改修事業]

三春町における一級河川桜川広域河川改修事業予定地に伴う4,000m²について分布調査を実施したが、遺跡は確認できなかった。

[(仮称)大滝山風力発電事業]

(仮称)大滝山風力発電事業に伴い、郡山市の8,800m²について分布調査を実施した。その結果、新たに周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地4箇所を設定した。

[磐越自動車道4車線化事業]

会津坂下町における磐越自動車道4車線化事業予定地に伴う200m²について分布調査を実施したが、遺跡は確認できなかった。

第2章 試掘・確認調査

第1節 地域高規格道路(会津縦貫北道路)建設予定地

会津縦貫北道路は、喜多方市石柴町から河沼郡湯川村を経て、会津若松市神指町に至る地域高規格道路で、現在、喜多方ICから会津若松北IC間が供用されている。平成28年度には、会津縦貫北道路の延長整備区間として若松北バイパスが計画されたため、同区間について分布調査を行った。なお、若松北バイパスは、会津若松市高野町から同市神指町にかけての3.2km、供用中の湯川南ICと会津若松北ICの間から若松西バイパスに接続する区間である。

平成28年4月に実施した分布調査の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告書24』)。また、周知の埋蔵文化財包蔵地のうち、鶴沼A遺跡

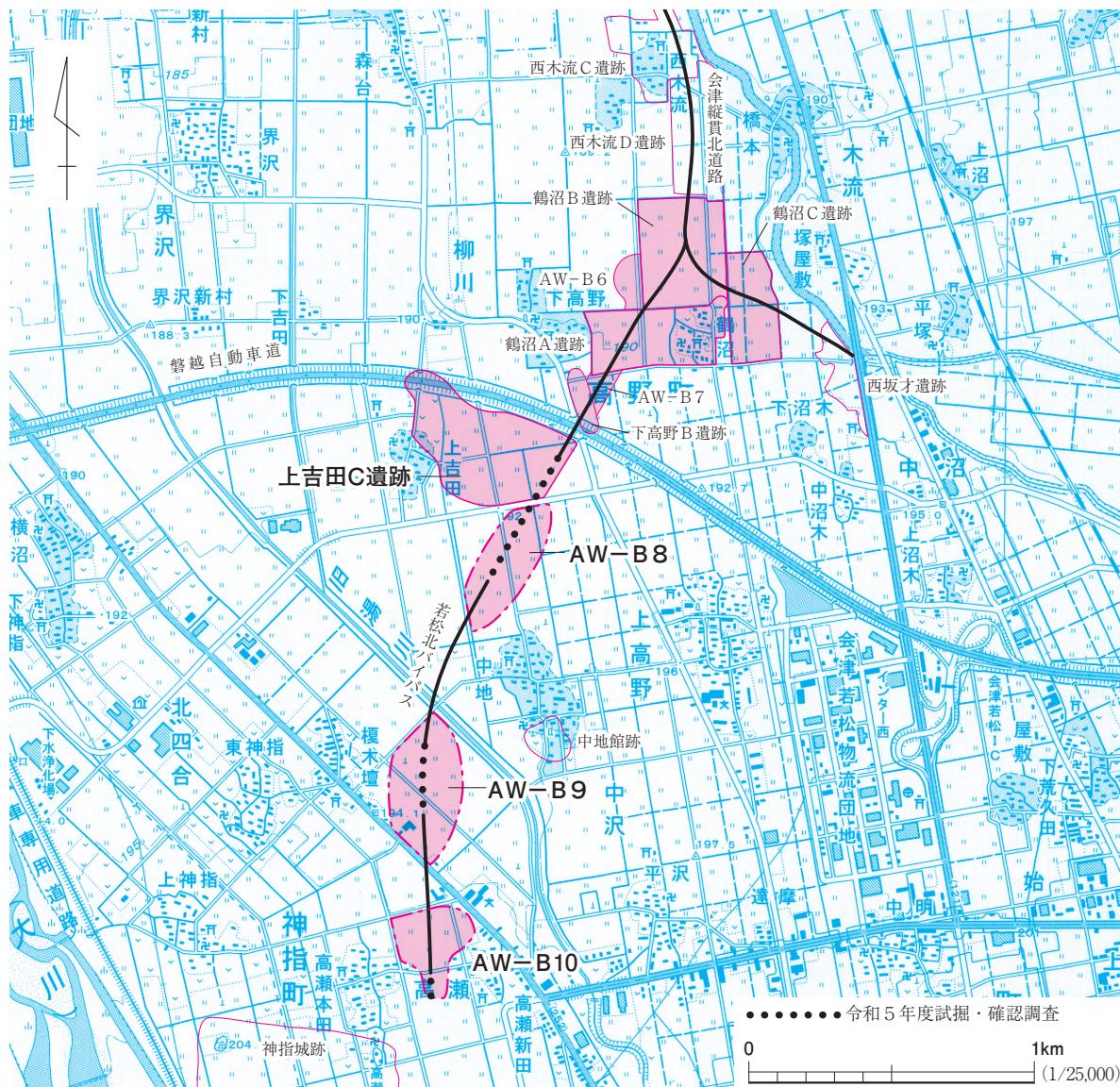


図2 地域高規格道路（会津縦貫北道路）位置

と上吉田C遺跡については包蔵地範囲の周囲からも遺物が採集され、包蔵地範囲が広がることを確認した。

令和4年度の試掘・確認調査は、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地2箇所について実施した。その結果、鶴沼B遺跡・AW-B8から遺構・遺物が確認され、鶴沼B遺跡の調査範囲全てが保存対象となり、AW-B8については未確定とした。

本年度は、会津若松市高野町・町北町・神指町地区における周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地3箇所の試掘・確認調査を実施した。その結果、上吉田C遺跡から遺構・遺物が確認された。

1 会津若松市の遺跡

上吉田C遺跡（2・3次調査）

所 在 地	会津若松市高野町上高野字村西
調査対象面積	14,700m ²
保 存 面 積	600m ²
検 出 遺 構	土坑(古代)
出 土 遺 物	須恵器・石鏸・オニグルミ

【概 要】 上吉田C遺跡は、平成28年度に若松

西バイパスに伴う分布調査で遺跡の周辺から遺物が採集され、遺跡範囲が拡張された周知の埋蔵文財包蔵地である（『福島県内遺跡分布調査報告24』）。遺跡は低位段丘の平坦面に立地し、現況は水田である。

平成元年度に実施した発掘調査では、奈良・平安時代の集落跡が確認されている（福島県教育委員会1990）。また、令和4年度に実施した第1次試掘調査では、遺構・遺物は確認できなかった。

本年度は第2次調査が工区内の12,000m²を対象にトレンチ32本、第3次調査が2,700m²を対象にトレンチ10本を設定して行った。

【遺構・遺物】 遺構・遺物は第2次調査でのみ確認した。遺構は土坑1基を確認し、遺物はLⅡから須恵器とオニグルミ、LⅠから石鏸がそれぞれ1点出土した。

【ま と め】 調査の結果、遺構・遺物を確認した第2次調査30Tの範囲(600m²)について保存協議を要する範囲とした。第3次調査については遺構・遺物が確認されなかったことから、工区内の調査範囲について保存対象外と判断した。なお、本遺跡の確認調査対象面積については、3,100m²が残る。



1 上吉田C遺跡全景（北東から）



2 上吉田C遺跡 30T土坑検出（南西から）

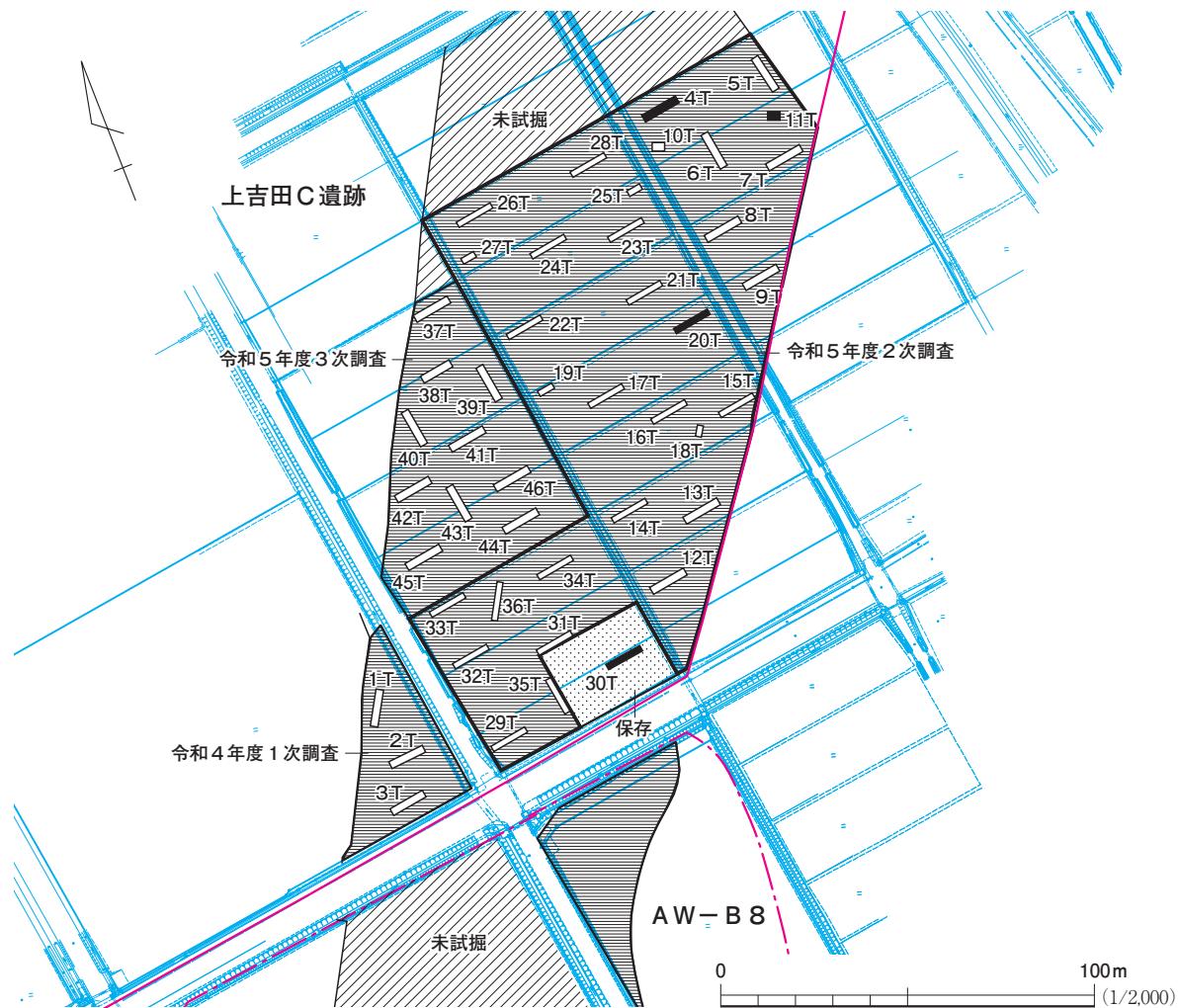


図3 上吉田C遺跡（2・3次）トレンチ配置

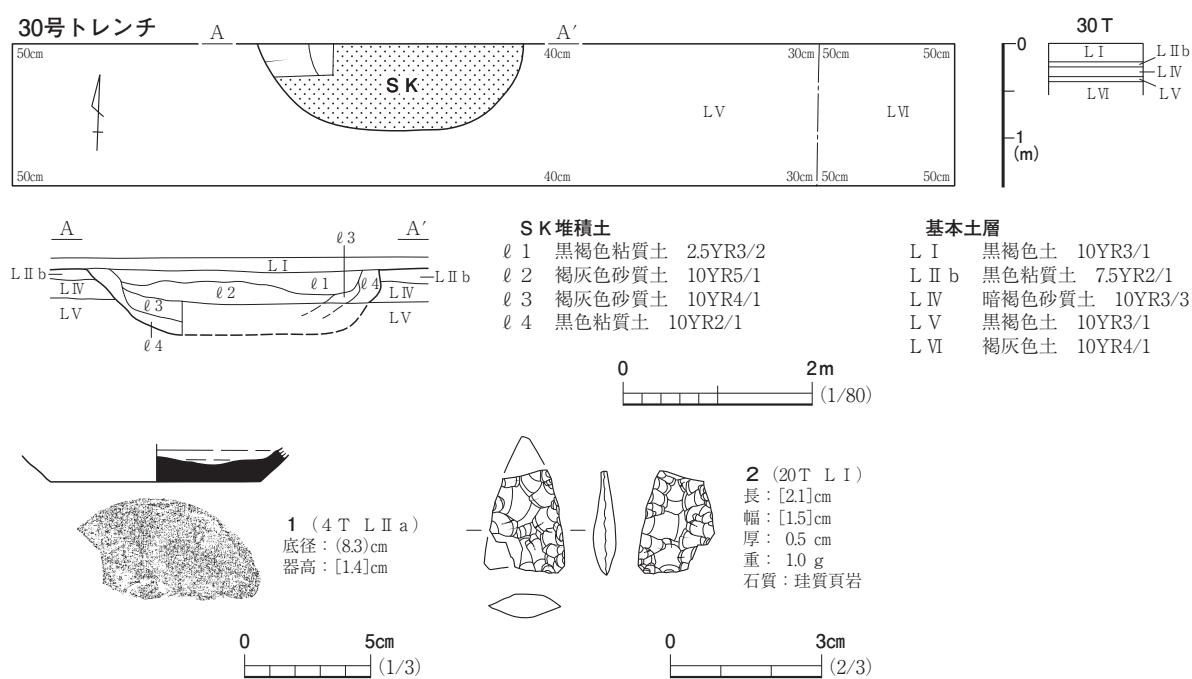


図4 上吉田C遺跡（2次）土層、検出遺構、出土遺物

AW-B8（2次調査）

所 在 地 会津若松市町北町中沢字中地

調査対象面積 1,000m² 保 存 面 積 0 m² 検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

【概 要】 AW-B8は、平成28年度の分布調査で新たに設定した埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告24』）。遺跡は低位段丘の平坦面に立地し、現況は水田である。

令和4年度に8,300m²を対象とした試掘調査で性格不明遺構と小穴を確認したが、部分的な調査のため保存範囲は未確定とした。

本年度の第2次調査は、工区内の1,000m²を対象にトレンチ2本を設定して行った。

【ま と め】 調査の結果、トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断する。

なお、試掘調査対象面積については、14,100m²が残る。

AW-B9（2次調査）

所 在 地 会津若松市神指町榎木壇・町北町中沢字向川原

調査対象面積 23,300m² 保 存 面 積 0 m² 検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

【概 要】 AW-B9は、平成28年度の分布調査で、新たに設定した埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告24』）。遺跡は、低位段丘の平坦面に立地し、現況は水田である。

令和4年度には、6,300m²を対象とした試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認できなかった。

本年度の第2次調査は、工区内の23,300m²を対象にトレンチ37本を設定して行った。

【ま と め】 調査の結果、トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。なお、残りの試掘調査対象面積4,800m²については、著しく削平を受けている可能性が高いことから、残りの未試掘範囲について調査を行わないこととした。

今回の調査をもって、AW-B9のすべての調査は終了した。

AW-B10

所 在 地 会津若松市神指町高瀬

調査対象面積 9,400m² 保 存 面 積 0 m² 検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

【概 要】 AW-B10は、平成28年度の分布調査で、新たに設定した埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告24』）。遺跡は、低位段丘の平坦面に立地し、現況は水田である。

本年度の調査は、工区内の9,400m²を対象にトレンチ14本を設定して行った。

【ま と め】 調査の結果、トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。

なお、残りの試掘調査対象面積10,700m²については、旧河道及び著しく削平を受けている可能性が高いことから、残りの未試掘範囲について調査を行わないこととした。

今回の調査をもって、AW-B10のすべての調査は終了した。

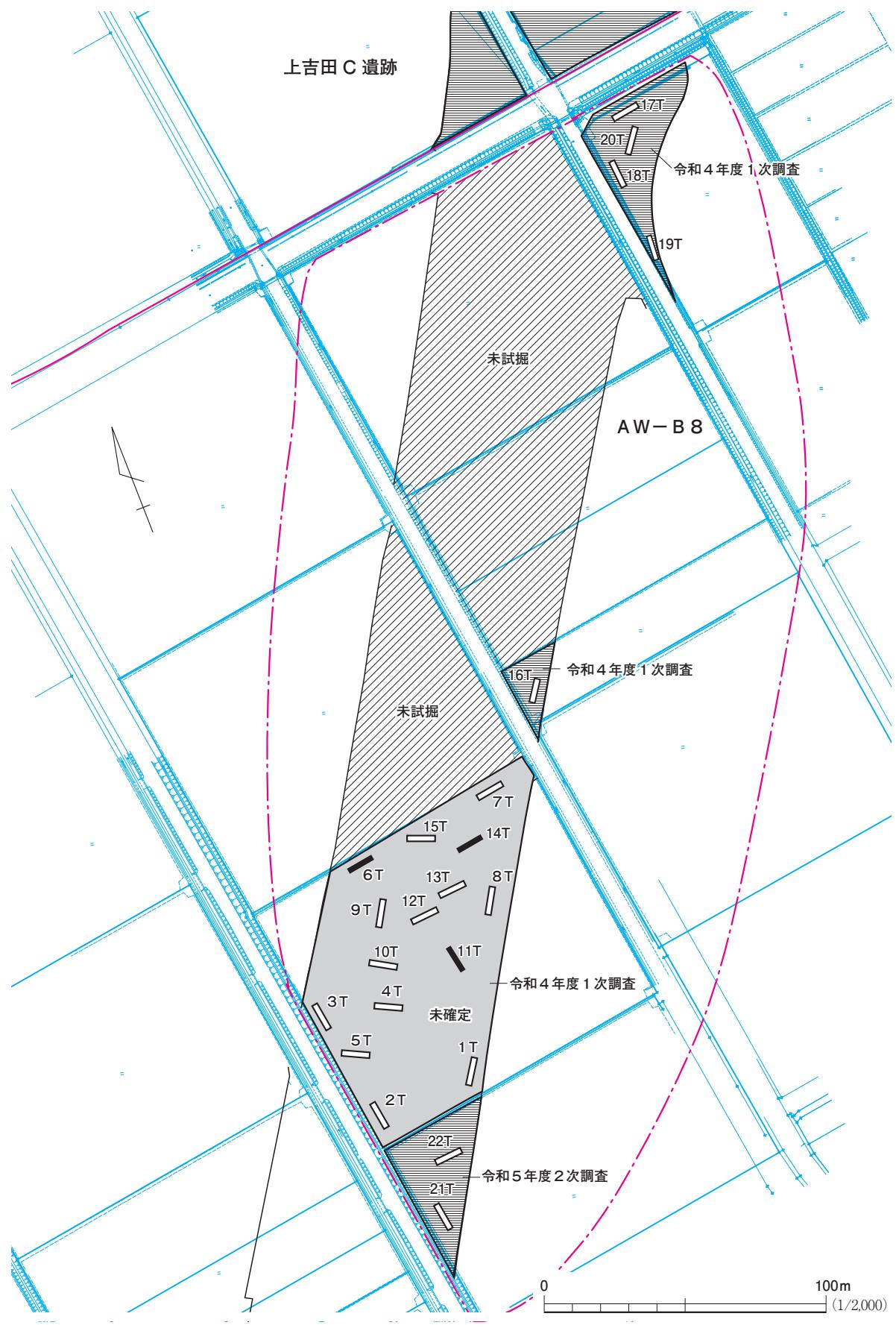


図5 AW-B8(2次) トレーニング配置

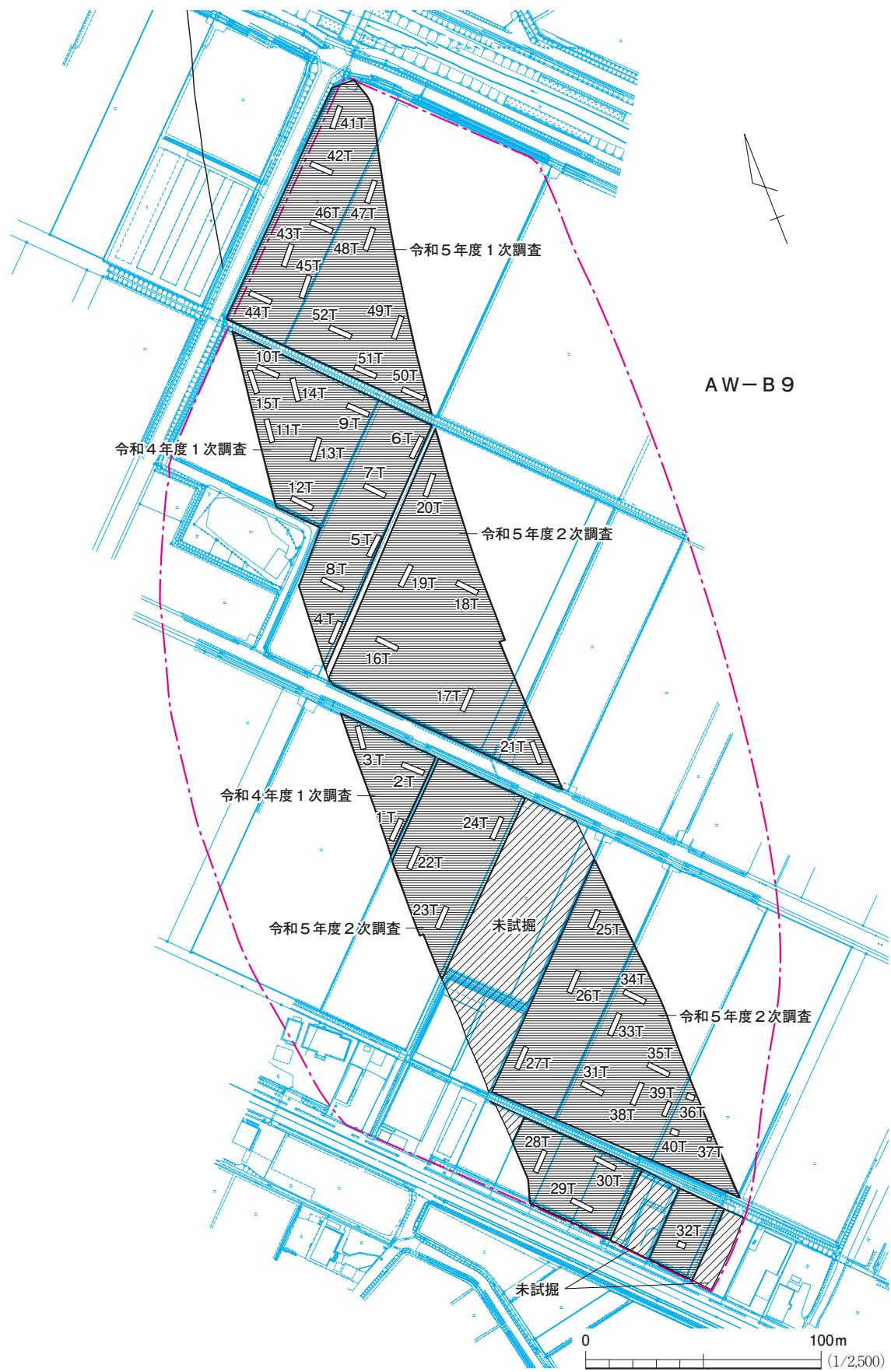


図6 AW-B 9 (2次) トレンチ配置

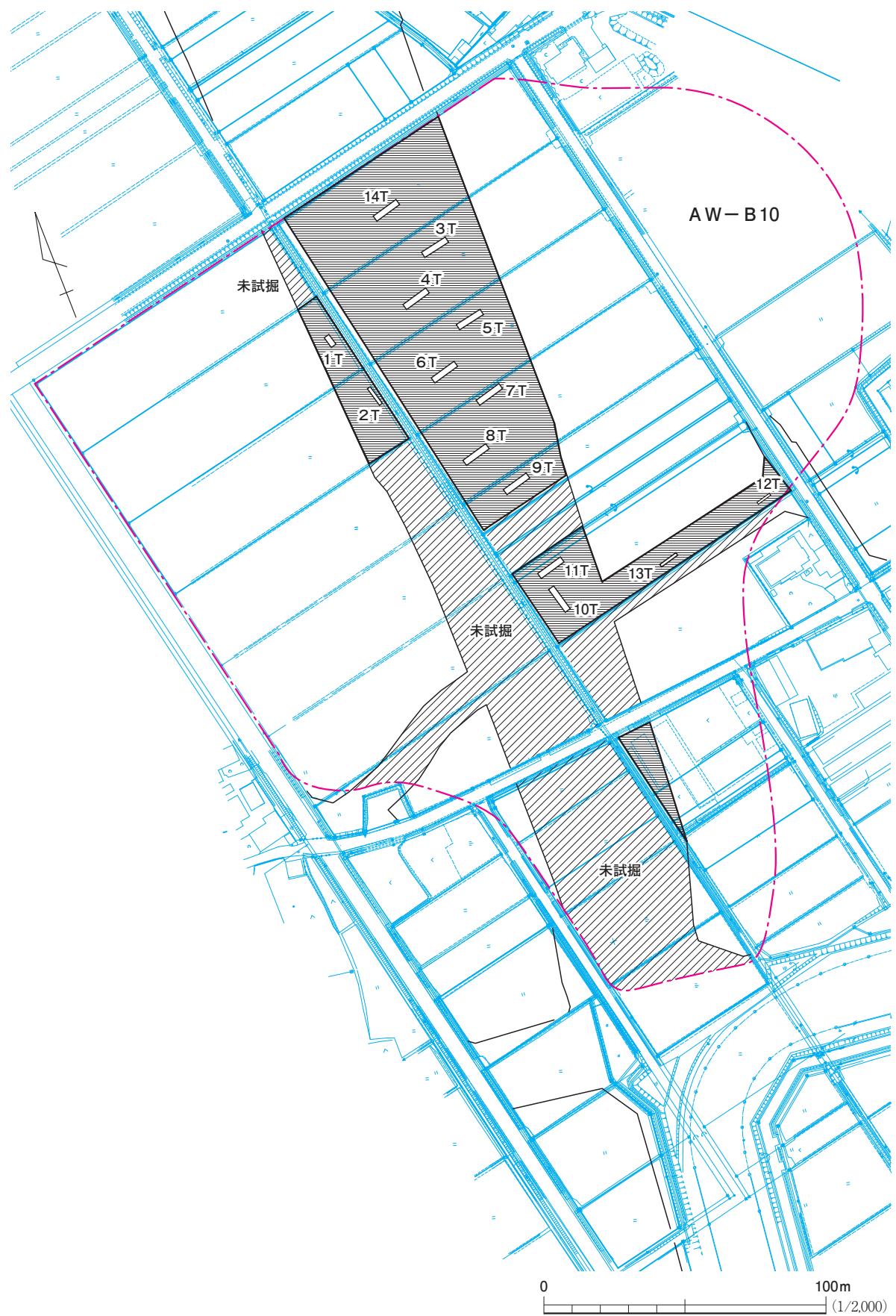


図7 AW-B10トレンチ配置

第2節 地域高規格道路(会津縦貫南道路)建設予定地

地域高規格道路(会津縦貫南道路)は、会津地方の南北軸となる国道121号の機能を強化することにより、地域の活性化を図ることを目的に計画が進められている自動車専用道路である。会津若松市から南会津郡下郷町を経て、南会津郡南会津町に至る総延長50kmの地域高規格道路で、将来的には北は山形県米沢市と、南は栃木県日光市と結ばれる計画となっている。福島県が事業主体となり、平成14年度に小沼崎バイパス1.5km、平成19年度には湯野上バイパス8.3kmが一般国道改良事業として着手された。このうち湯野上バイパスは、平成24年度から国土交通省の直轄権限代行事業として進められている。また、下郷田島バイパス(下郷町塩生～南会津町田島地区)11.1kmについては、平成27年度から福島県の事業として進められている。

会津縦貫南道路に関する埋蔵文化財の調査は、平成18・19年度に小沼崎・湯野上バイパスの約9.8kmの分布調査を実施した。その結果、12箇所の周知の埋蔵文化財包蔵地を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告13・14』)。その後、平成24・26・27・29年度、令和2年度に試掘・確認調査を実施している(『福島県内遺跡分布調査報告20・22・23・25・28』)。また、平成27・30年度及び令和元～3年度に栗林遺跡、平成28年度に瀧ノ入遺跡、平成30年度に下居平乙遺跡、令和3年度に中妻新田遺跡の本発掘調査を実施した。現在までに埋蔵文化財の調査は、下郷町小沼崎～塩生までの小沼崎・湯野上バイパス区間がすべて終了している。

本年度は、下郷田島バイパス内の下郷町落合地区の埋蔵文化財包蔵推定地1箇所で試掘調査を実施した。

1 下郷町の遺跡

CG-B14

所 在 地 南会津郡下郷町落合

調査対象面積 9,370m² 保 存 面 積 0m² 検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

[概 要] CG-B14は、平成29年度の分布調査で新たに追加された埋蔵文化財包蔵推定地である(『福

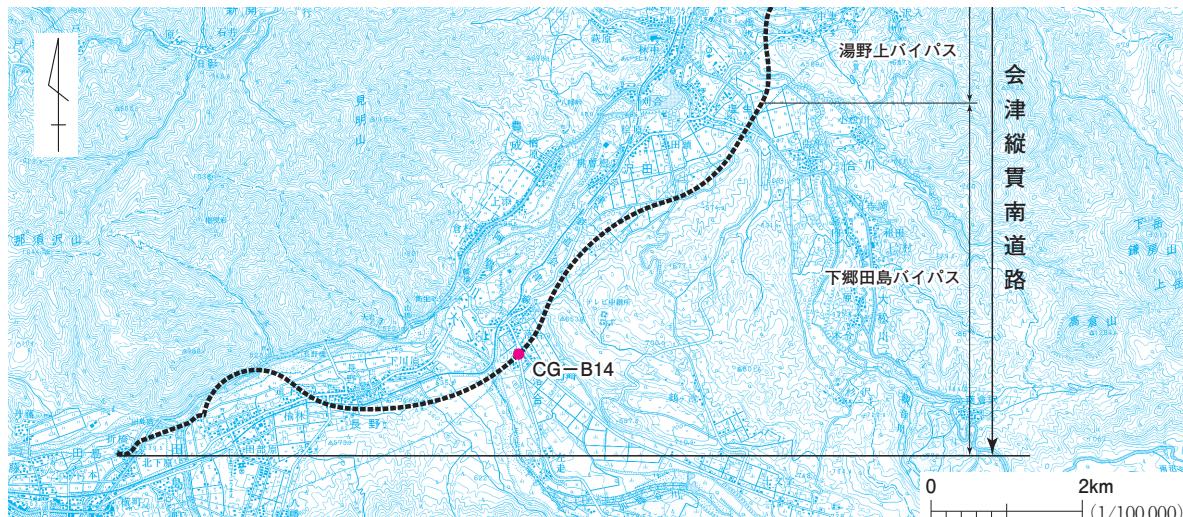


図8 地域高規格道路(会津縦貫南道路)位置

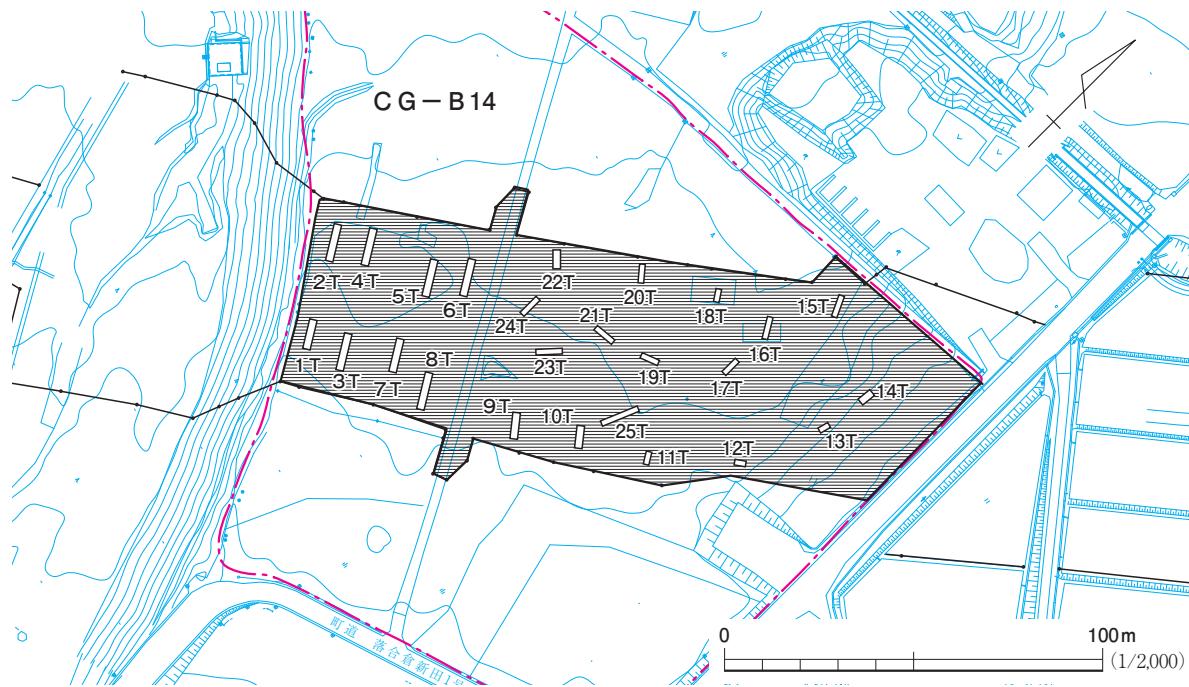


図9 CG-B14トレンチ配置

島県内遺跡分布調査報告25』)。河岸段丘の平坦面に立地し、現況は山林及び荒地である。

本年度の調査は、工区内の9,370m²を対象にトレンチ25本を設定して行った。

[まとめ] 調査の結果、トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。今回の調査をもって、CG-B14のすべての調査は終了した。

第3節 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業予定地

国道4号泉崎・矢吹地区事故対策は、東北自動車道矢吹IC出入口付近の追突事故防止のため、右折レーン新設と付加車線の延長により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図るものである。現在は、国道交通省東北整備局郡山国道事務所が事業を進めている。

本事業に関する埋蔵文化財の調査は、西白河郡泉崎村大字踏瀬～同郡矢吹町赤沢・北浦間を対象に分布調査を実施し、2箇所の埋蔵文化財包蔵推定地を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告30』)。

本年度は、泉崎村踏瀬地区における埋蔵文化財包蔵推定地1箇所の試掘調査を実施した。



図10 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業位置

1 泉崎村の遺跡

IZ-KD4J.B1

所 在 地 西白河郡泉崎村踏瀬字踏瀬・熊ノ森
調査対象面積 4,200m² **保 存 面 積** 2,000m²
検 出 遺 構 土坑・小穴・遺物包含層(古墳時代)
出 土 遺 物 土師器(古墳時代)

[概 要] IZ-KD4J.B1は、令和4年度の分布調査で新たに追加された埋蔵文化財包蔵推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告30』)。遺跡は二瀬川西岸の段丘に立地し、現況は畑・宅地・山林である。

本年度の調査は、工区内の4,200m²を対象にトレンチ7本を設定して行った。

[遺構・遺物] 遺構は、5TのLⅢ上面で土坑1基、小穴2基、遺物包含層1箇所を検出した。そのうち、遺物包含層は土師器が出土したLⅡの黒褐色土の一部にあたる。

遺物は、4~7Tから土師器が出土したが、5T以外はその出土量が少ない。土師器は、その特徴から古墳時代中・後期のものと考えられる。

[ま と め] 調査の結果、遺構と遺物を確認した5Tとその周囲について保存協議を要する範囲とした。

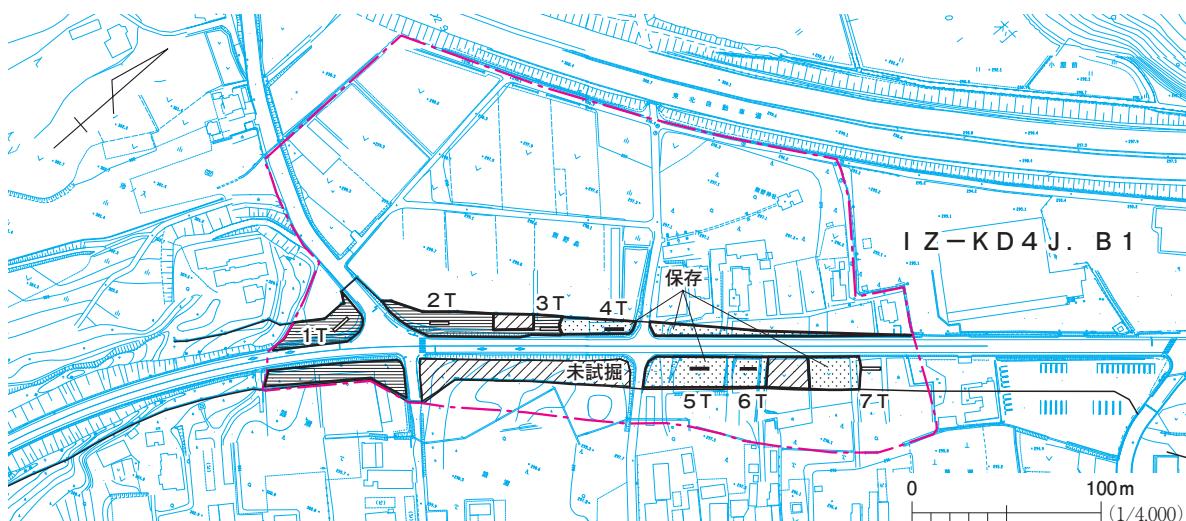


図11 IZ-KD4J.B1 トレンチ配置

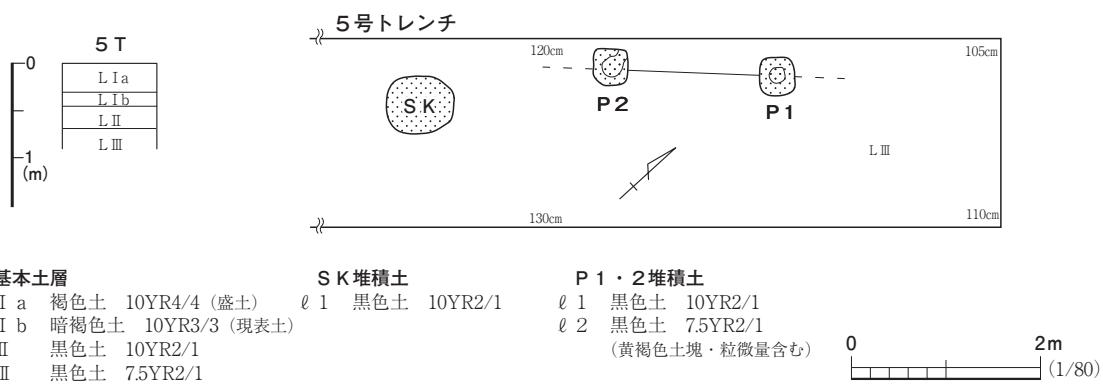


図12 IZ-KD4J.B1 土層、検出遺構

表7 IZ-KD4J.B1 トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
4T				土師器
5T	土坑1、小穴2、遺物包含層1	60cm		土師器
6T				土師器
7T				土師器(二次堆積)



3 1Z-KD4J.B1 東部現況（南西から）



4 1Z-KD4J.B1 5T 小穴検出（南西から）

また、2Tと3T、6Tと7Tの間の未試掘範囲(100m²)については、調査を行わないこととした。このため、本遺跡の試掘調査対象面積については、5T南西側の山林部の1,700m²が残る。

第4節 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）予定地

阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）は、令和元年の台風19号に伴う洪水で甚大な被害を受けた流域地区を対象に、本川・支川の抜本的な治水対策が一体となった総合的な事業である。

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めており、鏡石町・玉川村・矢吹町の阿武隈川沿川地区を対象に、洪水防御・調整のための遊水地の整備を行う。

本事業に係る分布調査は、令和3年度に鏡石町・玉川村・矢吹町を対象に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を設定した（『福島県内遺跡分布調査報告29』）。

本年度は、矢吹町における周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所の試掘・確認調査を実施した。

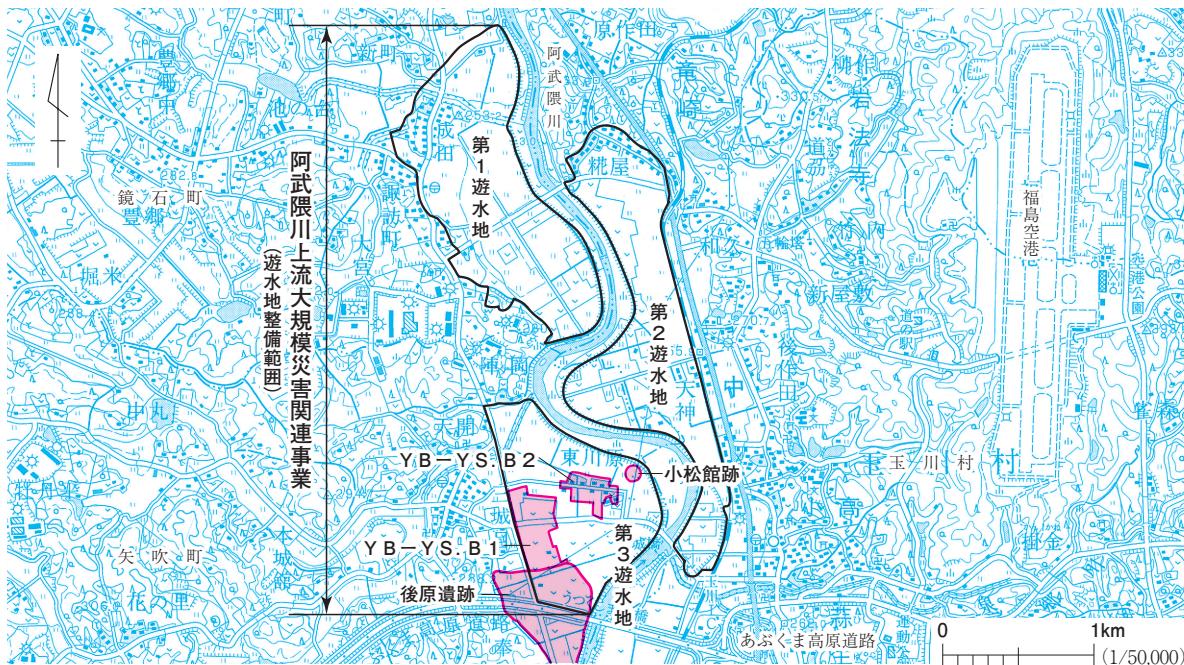


図13 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）位置

1 矢吹町の遺跡

小松館跡

所 在 地 西白河郡矢吹町陣ヶ岡

調査対象面積 2,000m² 保 存 面 積 0 m²

検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

[概 要] 小松館跡は、令和3年度に実施された分布調査によって新たに確認した埋蔵文化財包蔵地である(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。遺跡は、阿武隈川沿いの低位段丘の平坦面に立地する。現況は水田である。

本年度の調査は、工区内の2,000m²を対象にトレンチ8本を設定して行った。

[ま と め] 調査の結果、調査範囲内において削平が著しいことが確認され、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。

なお、残りの試掘調査対象面積7,000m²については、砂利採掘によって削平されている可能性が高いことから、調査を行わないこととした。今回の調査をもって、小松館跡のすべての調査は終了した。

後原遺跡

所 在 地 西白河郡矢吹町谷中

調査対象面積 40,100m² 保 存 面 積 未確定

検 出 遺 構 土坑・小穴(中世)

出 土 遺 物 銭貨

[概 要] 後原遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。遺跡は、阿武隈川西岸の段丘平坦面に立地する。現況は水田・畑である。

本年度の調査は、工区内の40,100m² (Y B - Y S. B 1を含む)を対象にトレンチ18本を設定して行った。

[遺構・遺物] 遺構は、1・2 TのいずれもL IV上面で確認された。1 Tでは小穴2基、2 Tでは土坑1基、44 Tでは小穴1基を検出した。また、遺物は1 TのP 1 ℥ 1から中世の銭貨である「至大通寶」が出土した。1 T P 1の堆積土は、2 TのSK堆積土と近似する。このことから、これらの遺構の時期は中世頃の可

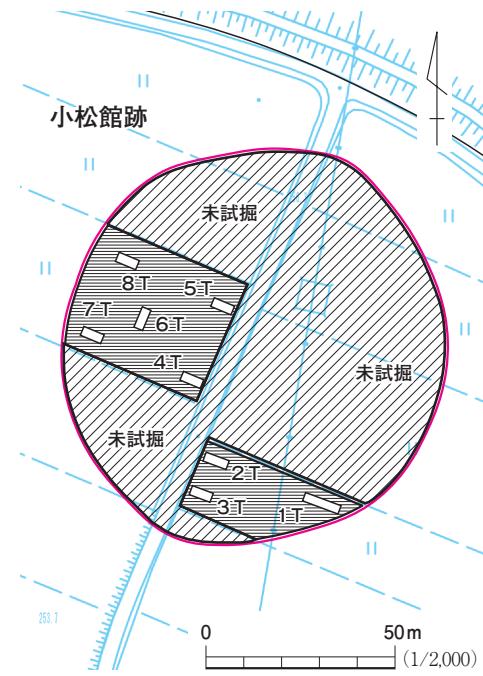


図14 小松館跡トレンチ配置

表8 後原遺跡トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
1 T	小穴2(中世)	75cm	○	銭貨
2 T	土坑1(中世か)	70cm	○	
44 T	小穴1	85cm	○	剥片・土師器
46 T				縄文土器



5 後原遺跡 2 T土坑断面 (東から)

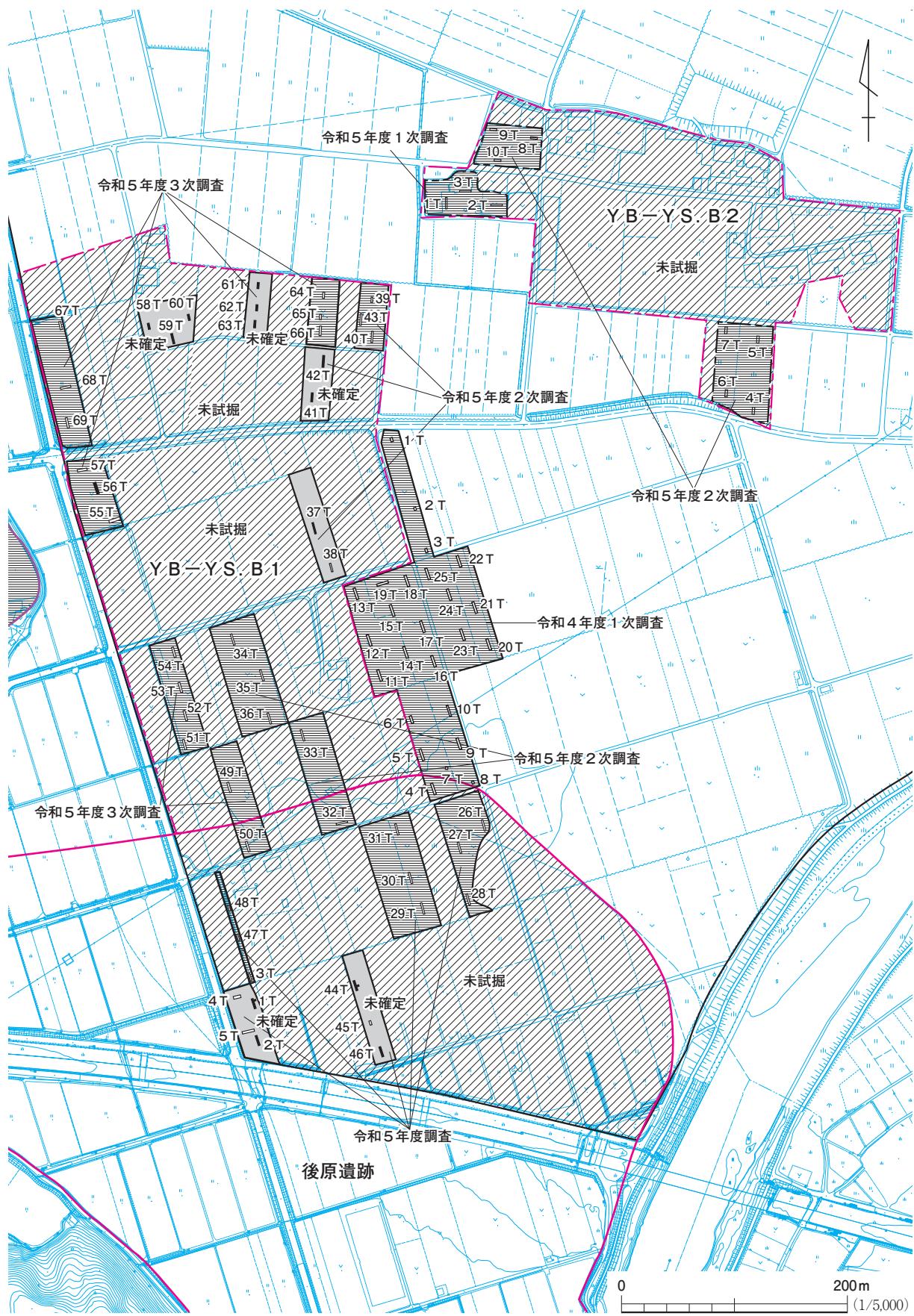


図15 後原遺跡、YB-Y.S. B1 (2・3次)・B2 (1・2次) トレンチ配置

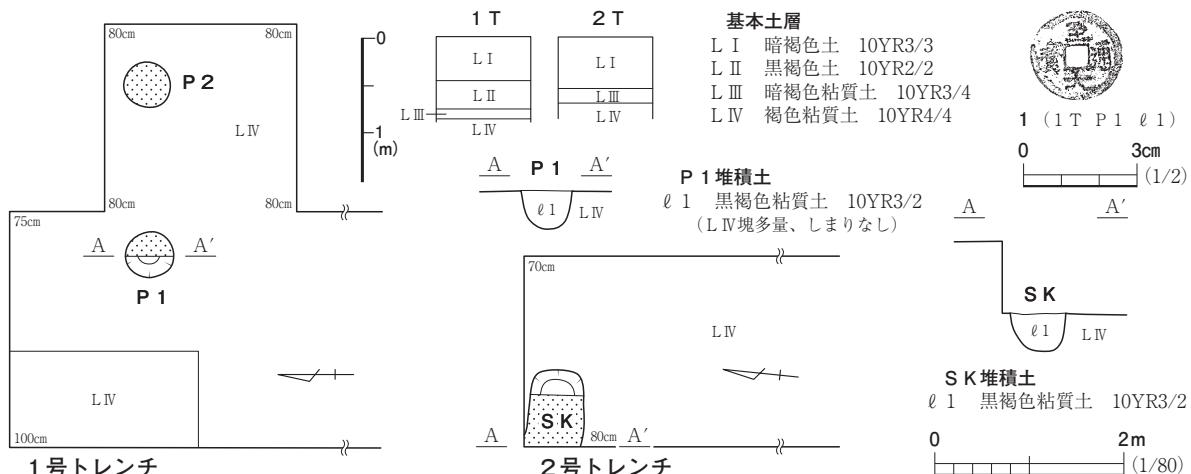


図16 後原遺跡土層、検出遺構、出土遺物

能性が高いと考えられる。

[まとめ] 調査の結果、1・2T・44・46Tで遺構・遺物が確認されたことから、遺跡がさらに北側及び東側に広がる可能性が確認された。このため、今後は、北側の未調査範囲を含め、調査区の北側から東側にかけての確認調査が必要となる。なお、4T、26~32T、44~48T、50TについてはYB-Y S. B1として調査したが、後原遺跡の範囲にあることから、本書では後原遺跡として取り扱う。

Y B - Y S. B 1 (2・3次調査)

所 在 地 西白河郡矢吹町谷中・中沖・東川原

調査対象面積 40,100m² (後原遺跡を含む) **保 存 面 積** 未確定

検 出 遺 構 壺穴住居跡・性格不明遺構・小穴・遺物包含層

出 土 遺 物 繩文土器、土師器、須恵器、石器(剥片)

[概 要] Y B - Y S. B 1は、令和3年度の分布調査で新たに設定した埋蔵文化財包蔵推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。河岸段丘上に立地し、現況は水田・宅地・畑である。

令和4年度は工区内の17,200m²を対象にトレンチ22本を設定したが、遺構・遺物は確認できなかった。

本年度の調査は、第2・3次調査の計40,100m²(後原遺跡を含む)を対象にトレンチ31本を設定して行った。

[遺構・遺物] 遺構は、42・58・60・62・63Tで検出した。これらの遺構の多くは、トレンチ断面のL IIから掘り込まれている。遺構は、62Tで壺穴住居跡1軒、42・60Tで性格不明遺構が各1基、58・60・63Tで遺物包含層が各1箇所、60Tで小穴を検出した。

[遺 物] 遺物は、L I・II、遺構内から縄文土器、土師器、須恵器、石器が出土した。主体となるのは、非口クロ土師器である。このうち、一部を図17に掲載した。

図17-1・2は非口クロ成形の奈良時代の土師器杯、同3・4は口クロ成形の平安時代の土師器杯で、3には高台が付く。同図5~8は、非口クロ成形の土師器甕である。5の口縁部はわずかに、6は大きく外傾する。7の口縁部はわずかに外反する。土師器甕の時期は、5が古墳時代前期、6・7が古墳時代後期と考えられる。8は底部で、底面に木葉痕が付される。同図9は、ハケメ調整が施された土師器甕の破片である。同図10は、タタキメが施された須恵器甕の破片である。

[まとめ] 調査の結果、遺構・遺物を確認した41・42T、58~60T、61~63Tを中心とした範囲について、

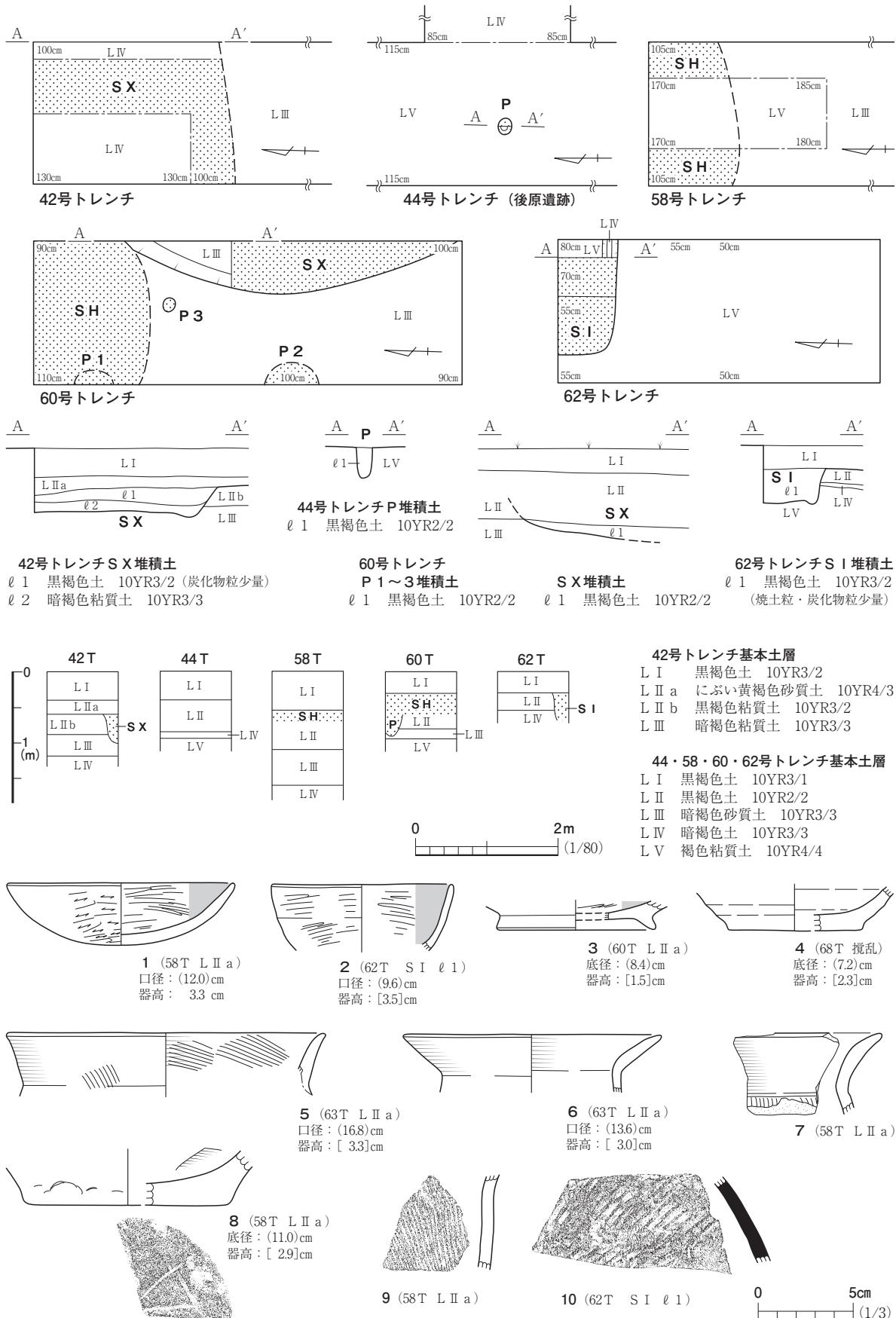


図17 YB-Y S. B 1 (2・3次)・後原遺跡土層、検出遺構、出土遺物



6 Y B - Y S. B 1 42T性格不明遺構 (南東から)



7 Y B - Y S. B 1 62T豊穴住居跡 (南西から)

表9 Y B - Y S. B 1 (2・3次) トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類 (時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
37T				土師器
39T				土師器
41T				土師器
42T	性格不明遺構1	60cm	○	土師器
58T	遺物包含層1	105cm	○	土師器
59T				土師器
60T	性格不明遺構1・ 小穴3・遺物包含層1	90cm	○	土師器・須恵器
61T				土師器
62T	豊穴住居跡1	50cm	○	土師器
63T	遺物包含層1	40cm		土師器
64T				土師器
65T				土師器
66T				土師器
67T				土師器
68T				土師器

今後の調査の進展により、保存協議を要する範囲が広がる可能性がある。このため、今回の調査による保存協議を要する範囲については、未確定とした。その他の範囲については、保存対象外とした。

なお、4T、26~32T、44~48T、50TについてはY B - Y S. B 1として調査したが、後原遺跡の範囲にあることから、本書では後原遺跡として取り扱う。

Y B - Y S. B 2 (1・2次調査)

所 在 地 西白河郡矢吹町東川原

調査対象面積 8,300m² 保 存 面 積 なし 検 出 遺 構 なし 出 土 遺 物 なし

【概 要】 Y B - Y S. B 2は令和3年度の分布調査で追加された埋蔵文化財包蔵推定地である(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。遺跡は阿武隈川西岸の段丘平坦面に立地し、現況は水田・宅地・畠地である。

本年度の調査は、工区内の8,300m² (1次: 2,500m²、2次: 5,800m²)を対象にトレンチ10本(1次: 3本、2次: 7本)を設定して行った。

【ま と め】 調査の結果、トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。なお、本推定地の試掘調査対象面積については、51,700m²が残る。

第5節 一級河川桜川広域河川改修事業予定地

一級河川桜川広域河川改修事業は、阿武隈川との合流地点である郡山市富久山町から三春町中心地区手前までの範囲において、頻発化・激甚化する水害に備え、河川の掘削及び築堤建設等の治水対策を行う事業で

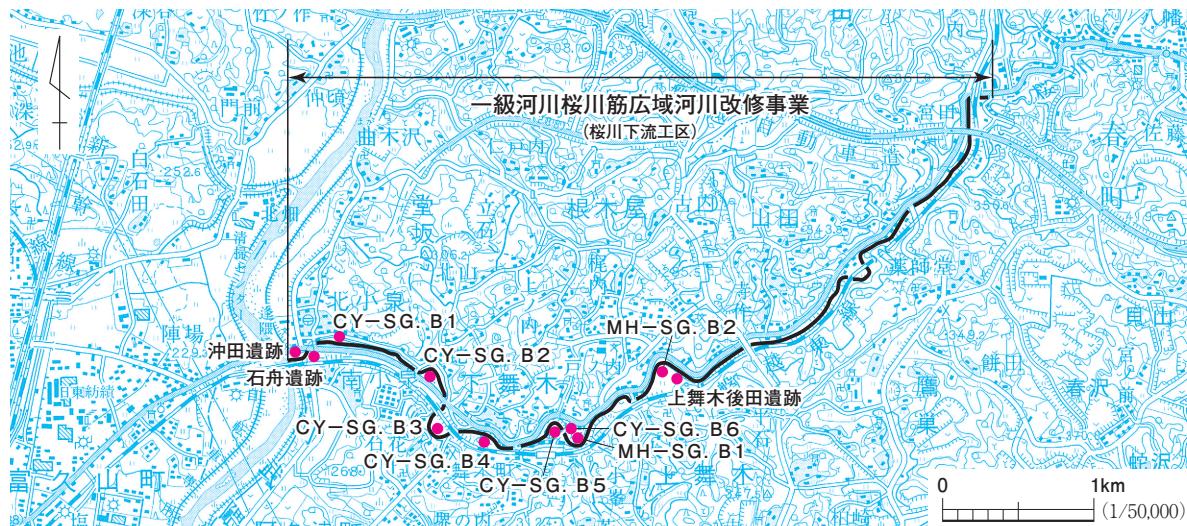


図18 一級河川桜川広域河川改修事業位置

ある。現在、福島県土木部県中建設事務所が事業を進めている。

本事業に係る分布調査は、令和3年度に郡山市富久山町～三春町上舞木を対象に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地8箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。本年度は、郡山市富久山町地区における周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所の確認調査を実施した。

1 郡山市の遺跡

沖田遺跡

所 在 地 郡山市富久山町北小泉

調査対象面積 2,600m²

保 存 面 積 0 m²

検 出 遺 構 なし

出 土 遺 物 繩文土器

[概 要] 沖田遺跡は、周知の埋蔵文化財包蔵地である(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。遺跡は、桜川右岸の段丘平坦面に立地し、現況は宅地・畑・荒地である。

本年度の調査は、工区内の2,600m²を対象に、トレンチ9本を設定して行った。

[ま と め] 確認調査の結果、遺構は確認できなかった。遺物は、3・5Tから縄文土器がわずかに出土しただけである。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。この他の工区内未調査範囲については、今回の調査成果から河川堆積物の可能性が高いと考えられることから、今後調査を行わないこととなった。これにより、今回の調査をもって、沖田遺跡の確認調査はすべて終了した。

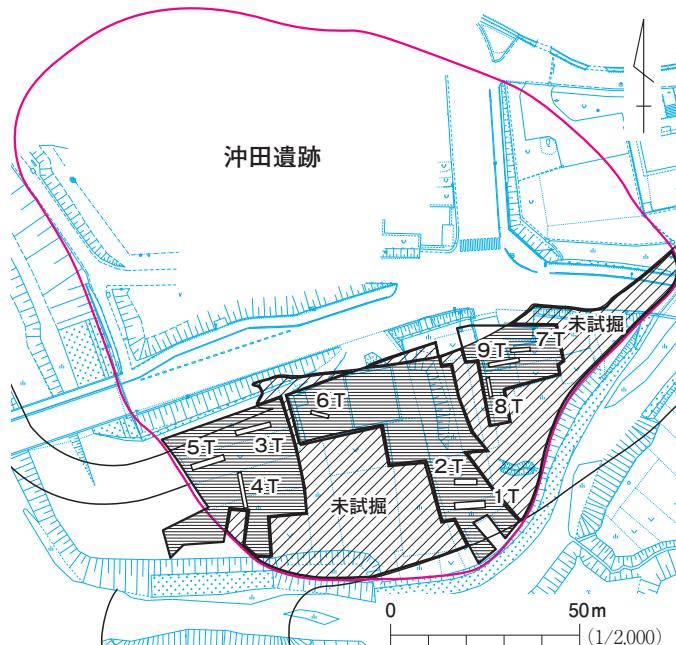


図19 沖田遺跡トレンチ配置

第3章 分布調査

第1節 阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)予定地

阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)は、令和元年の台風19号に伴う洪水で甚大な被害を受けた流域地区を対象に、本川・支川の抜本的な治水対策が一体となった総合的な事業である。その中で、遊水地計画は、岩瀬郡鏡石町・石川郡玉川村・西白河郡矢吹町の阿武隈川沿川地区を対象に、洪水防御・調整のための遊水地整備を行う事業である。現在、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めている。

令和3年度は、3,500,000m² (350ha)を対象に分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。また、令和4年度は、474,000m²を対象に分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告30』)。

本年度は、工事計画変更に伴う追加調査範囲の第1遊水地・第2遊水地・第3遊水地の3工区にかけて580,000m²を対象に分布調査を行った。調査の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地は、鏡石町で1箇所(念仏坦遺跡)、玉川村で6箇所(百八横穴古墳群、臥龍城跡、原作田B・C・E遺跡、高原遺跡)を確認した。埋蔵文化財包蔵推定地は、鏡石町で3箇所(K I - Y S. B 3~5)、玉川村で1箇所(T G - Y S. B 4)、矢吹町で1箇所(Y B - Y S. B 3)を新たに設定した。この他、鏡石町で埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(K I - Y S. B 2)、玉川村で埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(T G - Y S. B 1)の範囲が拡がり、工区内における埋蔵文化財調査対象面積が増加した。

これまでに確認した周知の埋蔵文化財包蔵地及び設定した埋蔵文化財包蔵推定地を、表10に示した。このうち、今回新たに確認した玉川村の百八横穴古墳群と臥龍城跡については、現状で遺構が明確に確認できることから調査成果を報告する。なお、これまでに提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事変更等により、変動する可能性がある。

1 玉川村の遺跡

百八横穴古墳群

所 在 地 玉川村竜崎字松ヶ作

調査対象面積 10,600m² 検出遺構 横穴墓 出土遺物 なし

【概要】 百八横穴古墳群は、阿武隈川右岸の丘陵西側崖面に立地する。現況は山林である。

地元の考古学者首藤保之助が昭和35年に実施した調査では、臼玉が9点採集されている。これらの資料は、現在須賀川市立博物館に所蔵されている。

本年度は、遺跡の範囲及び現状で確認できる横穴墓の位置と規模等の確認を行った。なお、位置図については、工事側の測量杭からの簡易的な計測のため、正確なものではない。

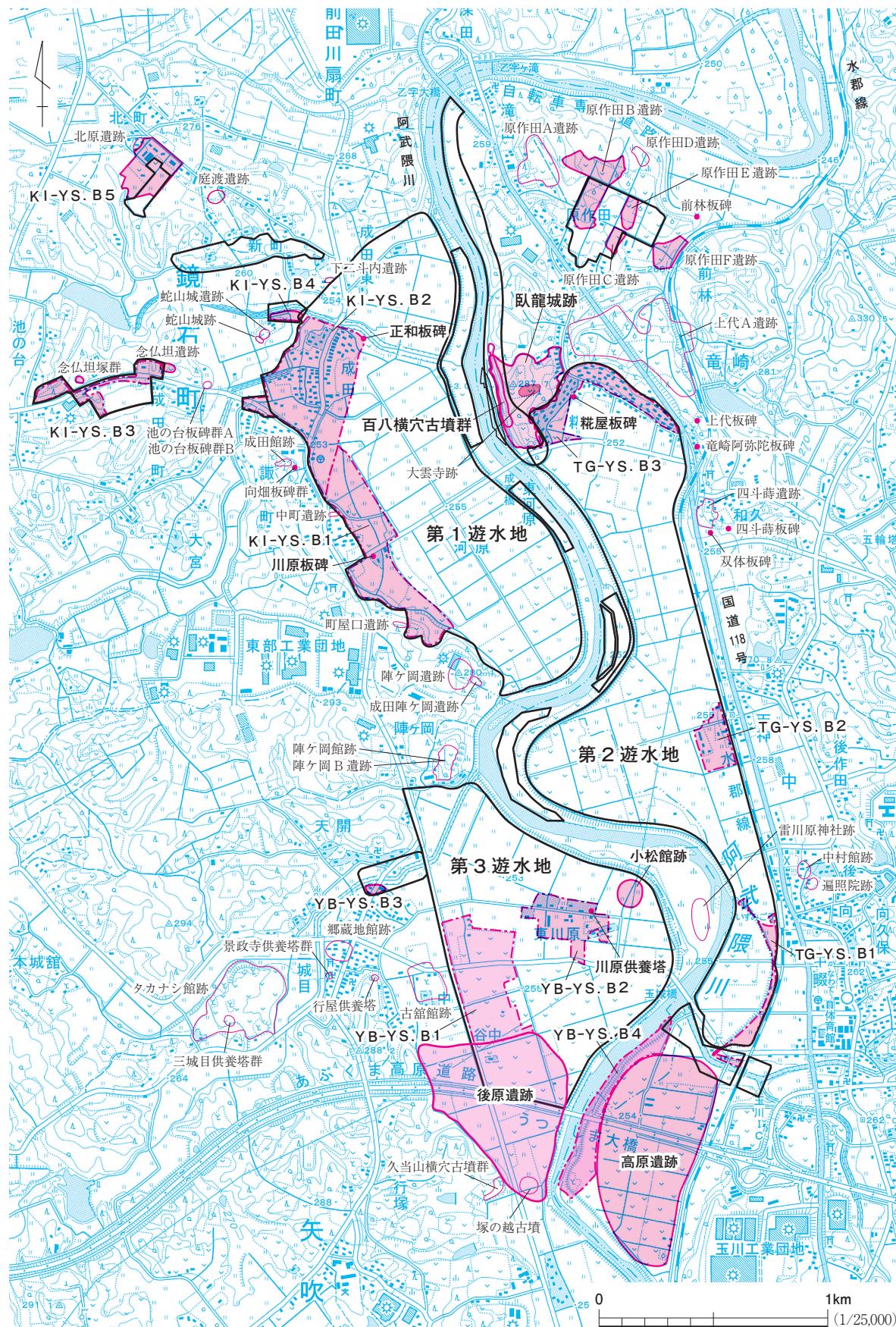


図20 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）位置と遺跡・遺跡推定地

表10 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）関連遺跡一覧

No.	遊水地名	遺跡名	遺跡番号	所在 地	現 態	時 代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備 考
1	第1 正和板碑	34230057	鏡石町成田字本町	神社境内	中世			100	周知の埋蔵文化財 包蔵地
2	第1 川原板碑	34230069	鏡石町諏訪町	宅地	中世			100	周知の埋蔵文化財 包蔵地
3	第1 念仏坦遺跡	34230058	鏡石町成田字池の台	山林	古墳			160	周知の埋蔵文化財 包蔵地
4	第1 KI-YS.B1		鏡石町成田・諏訪町・ 河原	水田・畑・ 宅地	奈良・ 平安	土師器・須恵器 繩文土器	140,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
5	第1 KI-YS.B2		鏡石町成田字本町	宅地・水田 畑・神社境内	奈良・ 平安	土師器	194,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
6	第1 KI-YS.B3		鏡石町成田	宅地・畑・ 水田・山林	繩文・ 平安	繩文土器・ 土師器・石鎚	40,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
7	第1 KI-YS.B4		鏡石町成田・新町	水田・宅地				3,000	新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
8	第1 KI-YS.B5		鏡石町北町	畑・水田・宅地	奈良・ 平安	土師器	7,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
9	第2 糜屋板碑	50270204	玉川村竜崎字糜屋	宅地	中世			100	周知の埋蔵文化財 包蔵地
10	第2 百八横穴古墳 群	50270017	玉川村竜崎字松ヶ作	山林	古墳			10,600	周知の埋蔵文化財 包蔵地
11	第2 臥龍城跡	50270018	玉川村竜崎字松ヶ作	山林・畑・墓地	古代・ 中世	土師器・ 中世陶器	26,000		周知の埋蔵文化財 包蔵地
12	第2 原作田 B・C・ E遺跡	B:50270002 C:50270008 E:50270004	玉川村竜崎字原作田	畑・荒地 果樹園	繩文・ 奈良・ 平安	繩文土器 土師器・須恵器	32,600		周知の埋蔵文化財 包蔵地
13	第2 高原遺跡	50270119	玉川村小高	水田・畑・宅地	奈良・ 平安			40,300	周知の埋蔵文化財 包蔵地
14	第2 TG-YS.B1		玉川村小高字稻荷畷道下・ 下川田・北畷・中畷	水田・畑	奈良・ 平安	土師器	39,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
15	第2 TG-YS.B2		玉川村中天神・天神前	水田・畑・宅地	奈良・ 平安	土師器	35,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
16	第2 TG-YS.B3		玉川村竜崎字糜谷・ 前谷地	宅地・畑	奈良・ 平安	土師器	50,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
17	第2 TG-YS.B4		玉川村小高・矢吹町中沖	水田・畑	繩文・ 古墳	石器・土師器	54,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
18	第3 小松館跡	46670106	矢吹町陣ヶ岡	水田	中世			9,000	周知の埋蔵文化財 包蔵地
19	第3 川原供養塔	46670062	矢吹町谷中東川原	宅地	中世			100	周知の埋蔵文化財 包蔵地
20	第3 後原遺跡	46670069	矢吹町谷中・中沖	水田	奈良・ 平安			78,000	周知の埋蔵文化財 包蔵地
21	第3 YB-YS.B1		矢吹町谷中・中沖	水田・畑・宅地	奈良・ 平安	土師器・須恵器	100,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
22	第3 YB-YS.B2		矢吹町東川原	水田・畑・宅地	奈良・ 平安	土師器	60,000		新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
23	第3 YB-YS.B3		矢吹町陣ヶ岡	水田・宅地				5,000	新発見の埋蔵文化財 包蔵推定地
合計			周知の埋蔵文化財包蔵地: 11 埋蔵文化財包蔵推定地: 12					924,060	

第1遊水地工区内面積: 384,360m²
第2遊水地工区内面積: 287,600m²
第3遊水地工区内面積: 252,100m²

[遺構] 横穴墓群の分布調査は、埋蔵文化財包蔵地内及びその周辺の丘陵西向き斜面を対象に行い、横穴墓を計57基確認した。確認した横穴墓の大部分が埋没する状況から、この他にも確認できなかった横穴墓が存在すると考えられる。これらの横穴墓は、基盤層である軟質の凝灰岩を削り抜いて構築されている。

横穴墓の各部名称については、外側から見た遺構奥の部屋を玄室、玄室入口から見た正面が奥壁、その上部を天井部、また、玄室手前のやや狭い通路部分を玄門部と呼称した。

今回確認した横穴墓は、そのほとんどが玄室と玄門部からなる。横穴墓の規模等については、表11に示した。この中で、「奥行」としたものは玄室入口から奥壁までの長さで、「玄門幅」は玄門の横幅とした。また、「開口状況」は玄門部の埋没状況を示した。

横穴墓は、標高253～268m、長さが南北に約400mの範囲内の斜面に構築される。その分布は、図21で示したように北側から1～5・57号横穴墓、6～18号横穴墓、19～56号横穴墓のまとまりが見られる。



8 百八横穴古墳群 遠景（西から）



9 百八横穴古墳群 6号横穴墓（西から）



10 百八横穴古墳群 25号横穴墓（南西から）



11 百八横穴古墳群 25号横穴墓奥壁（南西から）



12 百八横穴古墳群 26号横穴墓（西から）



13 百八横穴古墳群 44・45号横穴墓（南西から）

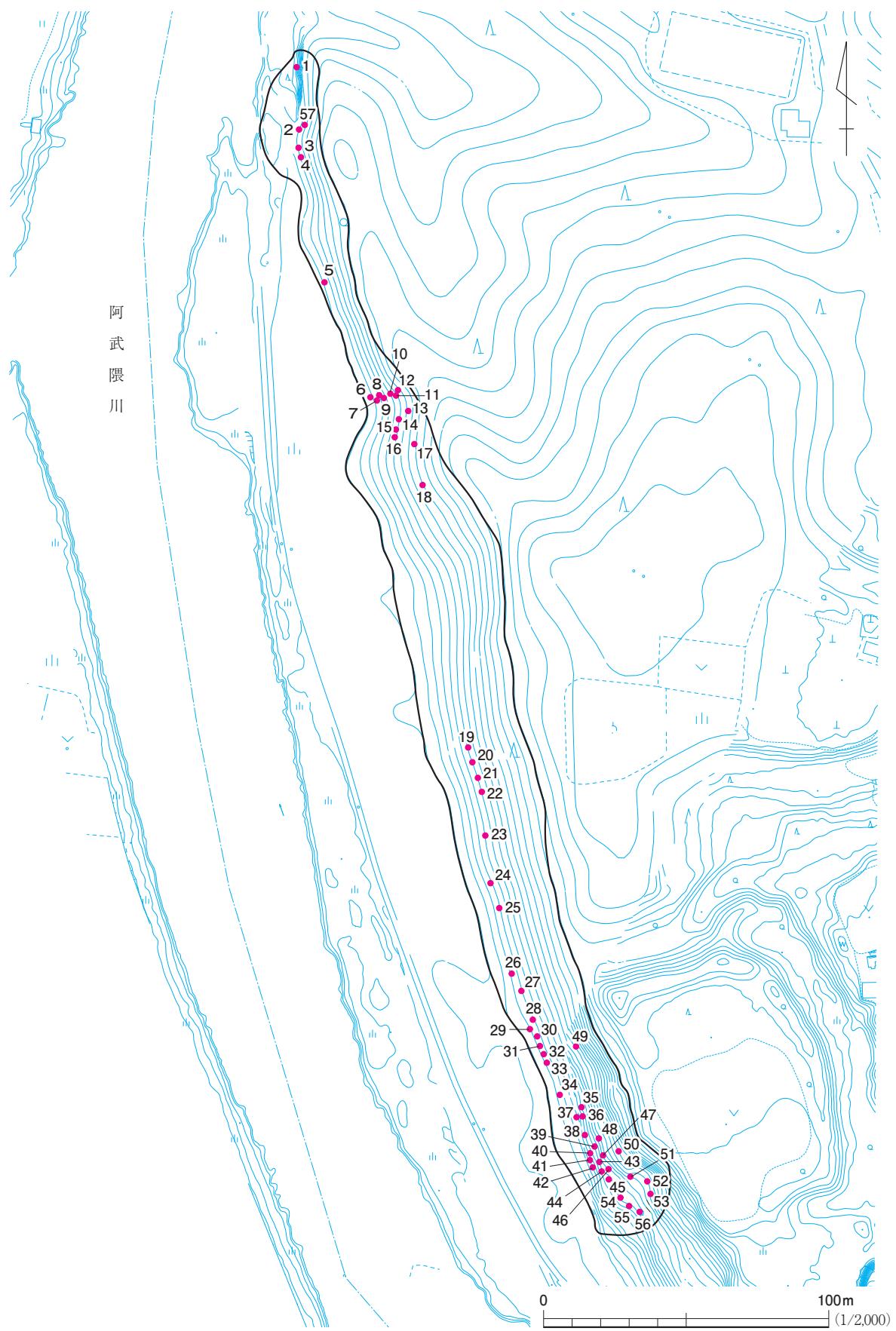


図21 百八横穴古墳群横穴墓分布位置

表11 百八横穴古墳群 横穴墓一覧

No.	開口 状況	規模 (cm)		天井 遺存 状況	奥壁 確認	備 考	No.	開口 状況	規模 (cm)		天井 遺存 状況	奥壁 確認	備 考					
		玄門幅	奥行						玄門幅	奥行								
1	一部	(31)	(90)	不明	×	上端部の加工痕確認	30	1/3	(105)	290	有	○						
2	1/3	(95)	300	不明	×		31	一部	(70)	(220)	有	×						
3	1/3	160	350	不明	×		32	一部	(95)	(180)	有	×						
4	一部	(80)	(35)	不明	×		33	一部	(60)	(200)	有	×	入口部崩落					
5	1/4	(110)	(100)	崩落	×		34	一部	(40)	(200)	不明	×						
6	一部	(70)	(100)	不明	×		35	一部	(65)	(160)	不明	×						
7	一部	(80)	70	不明	×		36	一部	(50)	(220)	不明	×						
8	開口	135	150	有	×		37	1/3	(110)	230	崩落	×	ヒノキの木の下					
9	一部	(92)	60	有	×		38	一部	(80)	(140)	不明	×	太いヒノキの木の下					
10	一部	(80)	90	有	×		39	一部	(54)	(220)	不明	×	北側脇にヒノキの木あり					
11	開口	150	180	有	○		40	1/3	(75)	260	崩落	○						
12	一部	175	230	有	○		41	1/4	(75)	270	有	○	42の5m北					
13	一部	(60)	(160)	不明	×		42	1/4	(75)	(140)	有	×	41の5m南					
14	半分	(120)	290	有	○		43	半分	(130)	250	崩落	○	44の斜め左上					
15	開口	60	88	有	○	小型横穴墓	44	半分	(110)	230	崩落	○	45の2m北、羨道遺存					
16	半分	(120)	290	有	○		45	1/3	(160)	250	無	○	44の2m南、天井にヒビ					
17	1/3	(140)	210	不明	×	尾根に近い最上段で確認	46	一部	(130)	(180)	有	×	44と45の間の2m上					
18	一部	(110)	(220)	有	×	尾根に近い最上段で確認	47	一部	(80)	240	不明	×	43の左斜め上					
19	一部	(75)	(150)	有	×		48	一部	(75)	275	不明	×	47の左斜め上					
20	一部	(97)	(170)	有	×		49	一部	(50)	190	不明	×						
21	一部	(120)	(210)	有	○		50	半分	(80)	80	不明	○	未成					
22	一部	(115)	300	不明	×		51	半分	(150)	80	崩落	○	玄門の天井崩落					
23	半分	(100)	330	有	○		52	半分	(80)	250	崩落	○						
24	一部	(100)	(220)	崩落	○		53	一部	(50)	(10)	不明	×	上端の部加工痕確認					
25	2/3	(85)	400	有	○	玄室底面の奥壁側一段高い	54	一部	(120)	165	有	×	55・56と横一列に並ぶ					
26	半分	(140)	350	有	○		55	1/3	(150)	155	有	○	54・56と横一列に並ぶ					
27	一部	(90)	(220)	不明	×		56	1/3	(80)	270	有	○	54・55と横一列に並ぶ					
28	一部	(45)	(180)	不明	×		57	開口	60	80	有	○	未成					
29	2/3	(135)	280	有	○		※ () 内の計測値については、さらに広がる可能性がある											

その現状を見ると、北端部に位置する1～5・57号横穴墓は、57号横穴墓以外が直立の岩盤裾部に構築され、その多くが阿武隈川の洪水による土砂によって埋没する状況を確認した。

続いてその南側の6～18号横穴墓は、北側から連なる直立の岩盤がなくなり、斜面が緩やかになる変換点の範囲に構築される。19～38号横穴墓は、緩斜面の等高線に並列する。さらに、39～56号横穴墓は斜面の上下段に並列するため、この範囲での横穴墓は他に比べ密になる。

この他、15・50・57号横穴墓については、岩盤を横に削り抜いたものであるが、他の横穴墓の形状や大きさが異なることから、製作途中あるいは小型の横穴墓の可能性が考えられる。

臥龍城跡

所 在 地 石川郡玉川村竜崎字松ヶ作

調査対象面積 未定

検出遺構 平場・土塁・堀跡・虎口

出土遺物 石臼

[遺構] 本遺跡は、阿武隈川東岸の舌状台地上に築かれた山城である。城跡は、台地の南端部に1号平場(主郭)、北側に5号平場(外郭部)を配する構造で、北と南の台地との間は1号堀跡(空堀)によって仕切られている。1号平場と西側の阿武隈川の河原との比高差は約30mを測る。

本遺跡については、三島正之氏による縄張り図が作成されている。今回は、その図を頼りに現状の地形から遺構を調査した結果、ほぼ縄張図と同様の遺構を確認した。

踏査の際、1号堀跡の西端部で石臼1点を採集し、図22に掲載した。

図22-1は、茶臼上部(上臼)の欠損品である。本資料からは、芯棒孔及び供給口が認められる。臼の目

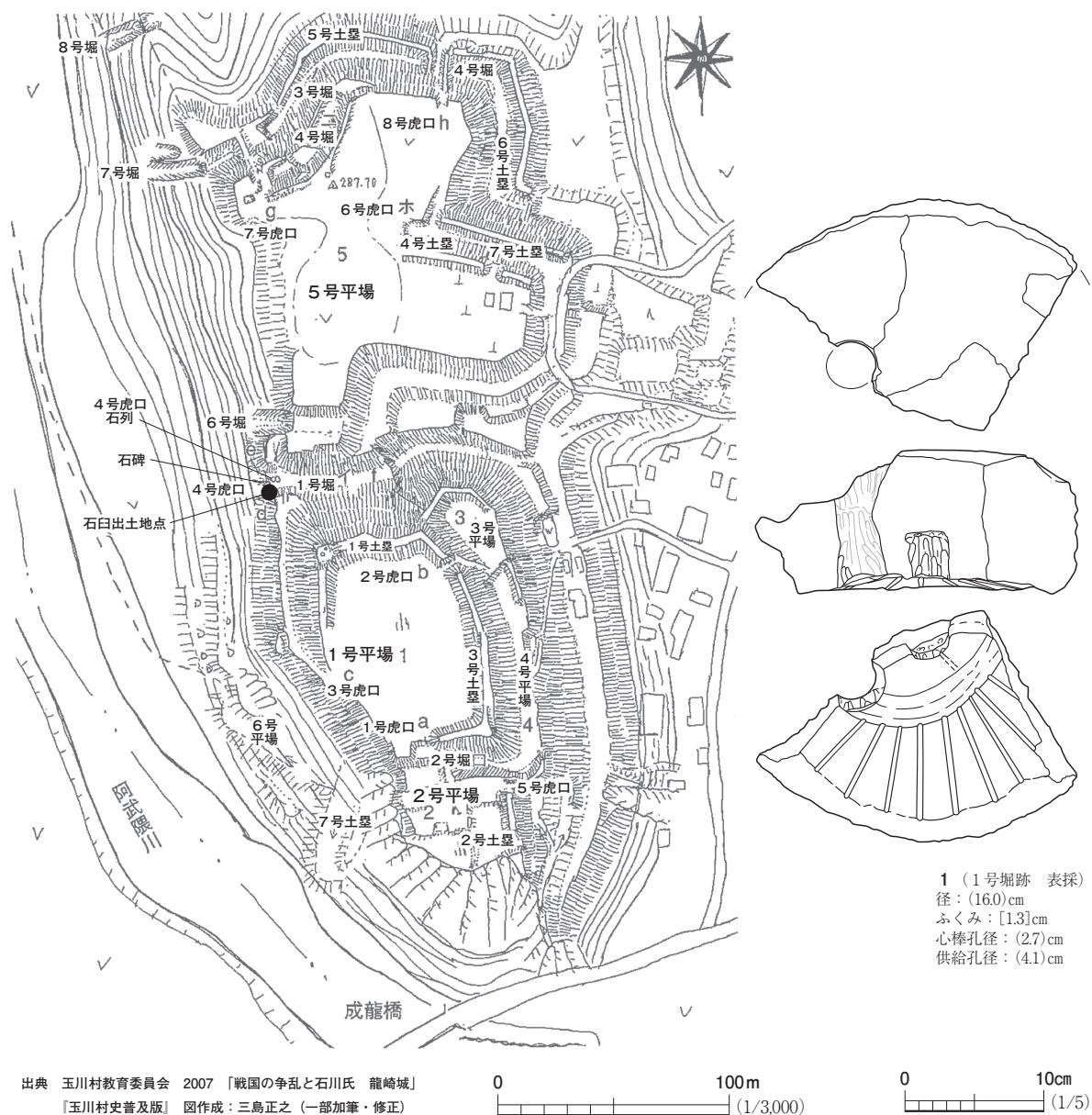


図22 臥龍城跡縄張図・出土遺物



14 臥龍城跡 遠景（北から）



15 臥龍城跡 1号虎口（南から）



16 臥龍城跡 1号堀跡（北から）



17 臥龍城跡 1号平場（北から）



18 K I - Y S. B 3全景（南西から）



19 K I - Y S. B 4全景（北東から）



20 原作田遺跡群東部（南西から）



21 高原遺跡北部（西から）



22 YB-Y S. B3全景 (南から)



23 TG-Y S. B4全景 (北西から)

の主溝及び副溝については判断できなかった。

第2節 一級河川桜川広域河川改修事業予定地

一級河川桜川広域河川改修事業は、阿武隈川との合流地点である郡山市富久山町から三春町中心地区手前までの範囲において、頻発化・激甚化する水害の備えとして、河川の掘削及び築堤建設等の治水対策を行う事業である。現在、福島県土木部県中建設事務所によって事業が進められている。

令和3年度は、郡山市富久山町から三春町までの77,000m²を対象に分布調査を行い、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地8箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告29』)。

本年度は、三春町上舞木の4,000m²を対象に分布調査を実施したが、周知の埋蔵文化財包蔵地の確認、埋蔵文化財包蔵推定地の設定はできなかった。

なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事計画変更などにより、変動する可能性がある。

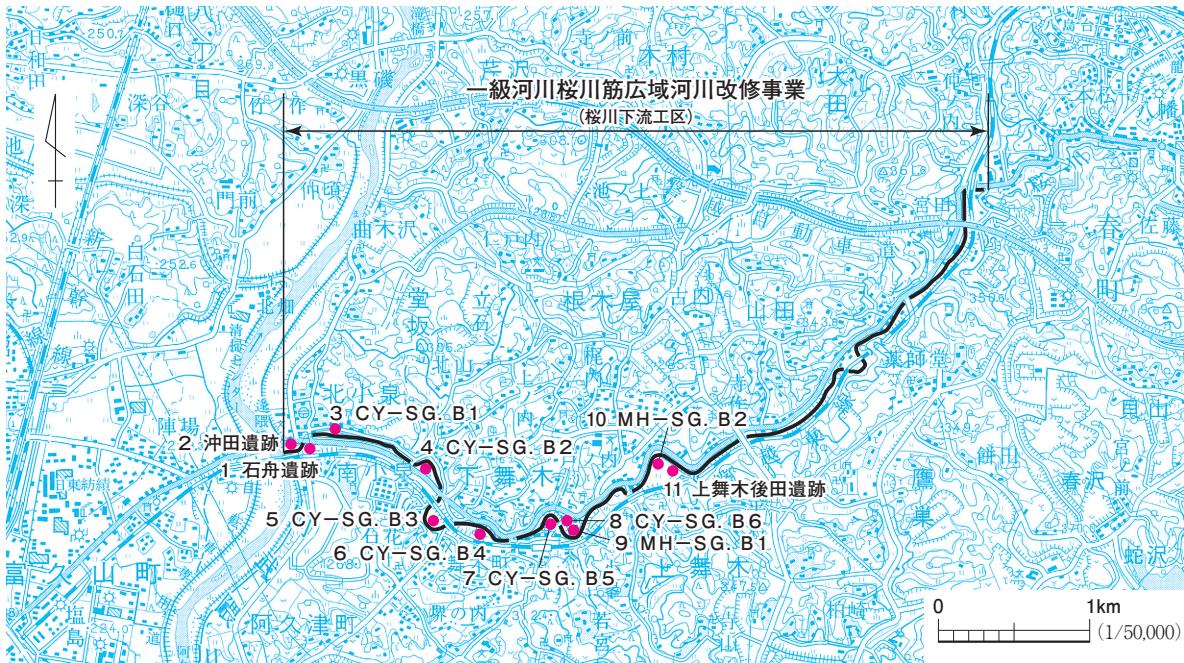


図23 一級河川桜川広域河川改修事業位置

表12 一級河川桜川広域河川改修事業関連遺跡一覧

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	石舟遺跡	20360878	郡山市富久山町南小泉字石舟・川原・江下	畠地・宅地・水田	縄文		未定	周知の埋蔵文化財包蔵地
2	沖田遺跡	20360877	郡山市富久山町南小泉字沖田・前田・屋敷内	畠地・宅地・水田	平安		5,300	周知の埋蔵文化財包蔵地
3	CY-S G. B1		郡山市富久山町北小泉字樋鼻・屋敷内	畠地・宅地			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
4	CY-S G. B2		郡山市舞木町字間明田	畠地・宅地			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
5	CY-S G. B3		郡山市舞木町字日陰田・正神平	宅地・畠地			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
6	CY-S G. B4		郡山市舞木町字四合田・石神	畠地・荒地			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
7	CY-S G. B5		郡山市舞木町字平	畠地・水田			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
8	CY-S G. B6		郡山市舞木町字宮ノ前	畠地・水田			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
9	MH-S G. B1		三春町大字上舞木字宮ノ前	宅地・畠地			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
10	MH-S G. B2		三春町大字上舞木字後田・貝貸田	宅地・水田			未定	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
11	上舞木後田遺跡	52130014	三春町大字上舞木字後田・貝貸田	畠地・荒地	平安		未定	周知の埋蔵文化財包蔵

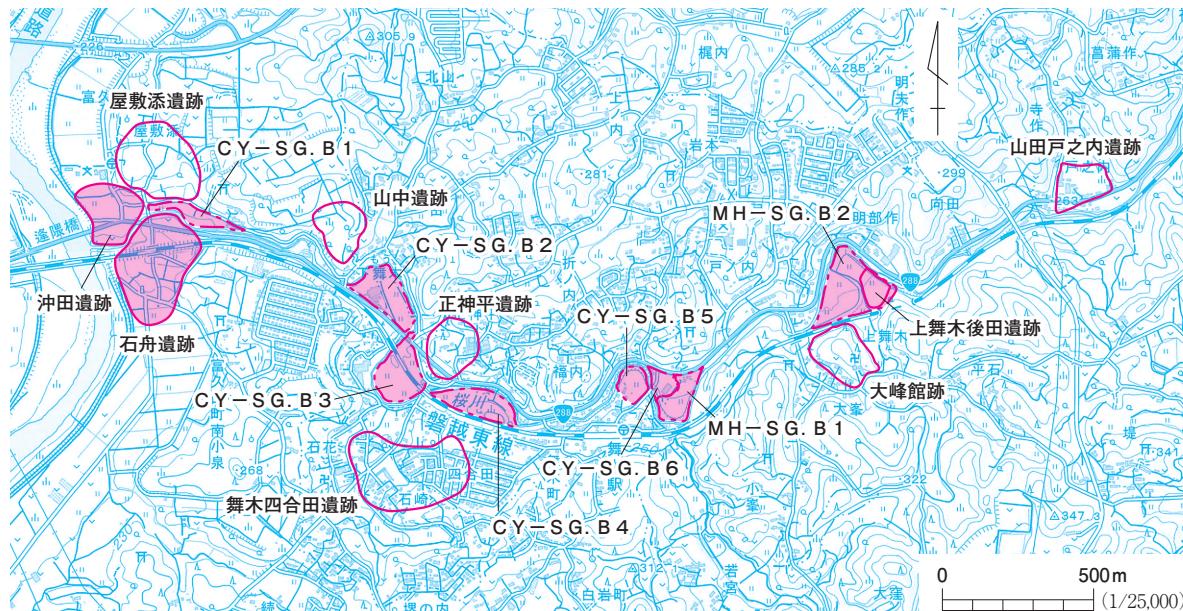


図24 一級河川桜川広域河川改修事業予定地と遺跡・遺跡推定地

第3節 (仮称) 大滝山風力発電事業予定地

(仮称)大滝山風力発電事業は、猪苗代町と郡山市の境にある大滝山周辺の山稜上において風力発電機(風車)35基の建設及びこれに伴う工事用道路の建設等が予定されている。

また、風力発電機(風車)で発電された電力については、大滝山周辺から郡山市日和田発電所までの区間ににおいて送電線及び電線埋設により電力を送ることが計画されている。現在、JR 東日本エネルギー開発株式

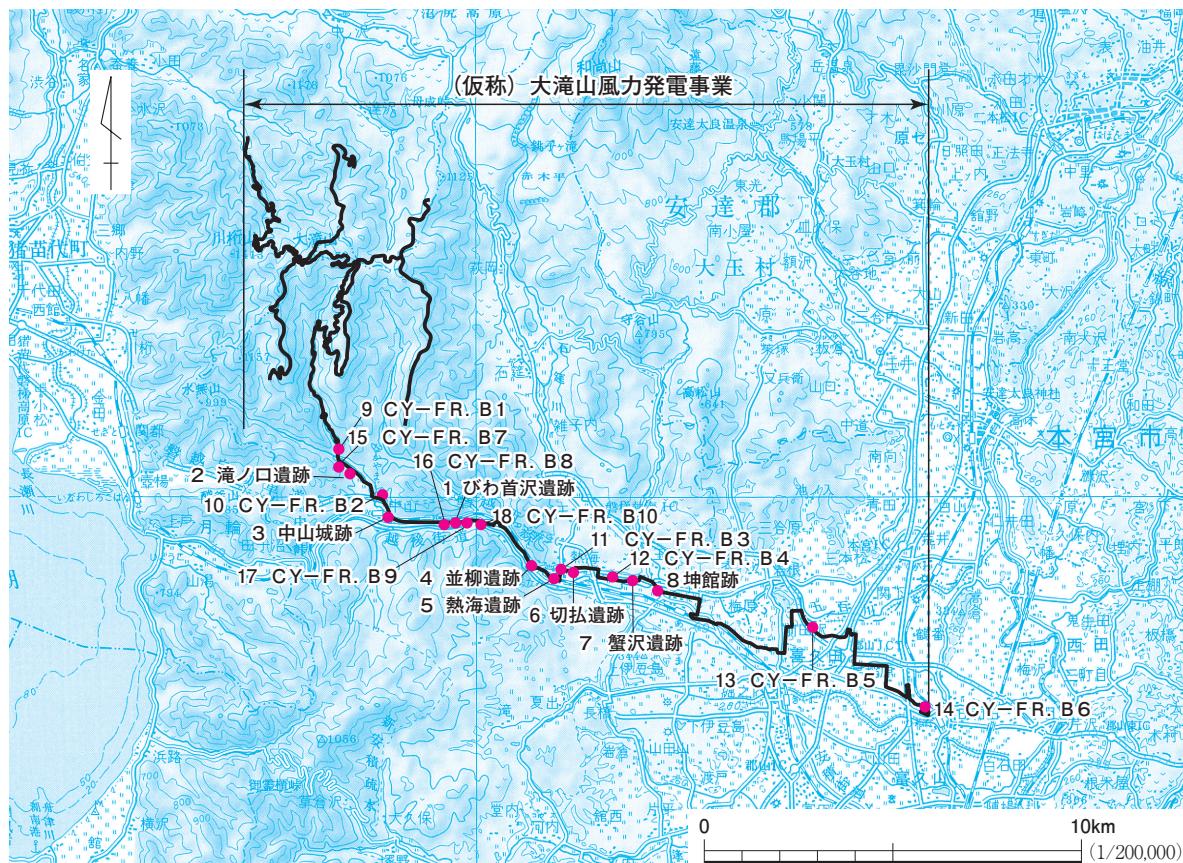


図25 (仮称) 大滝山風力発電事業位置

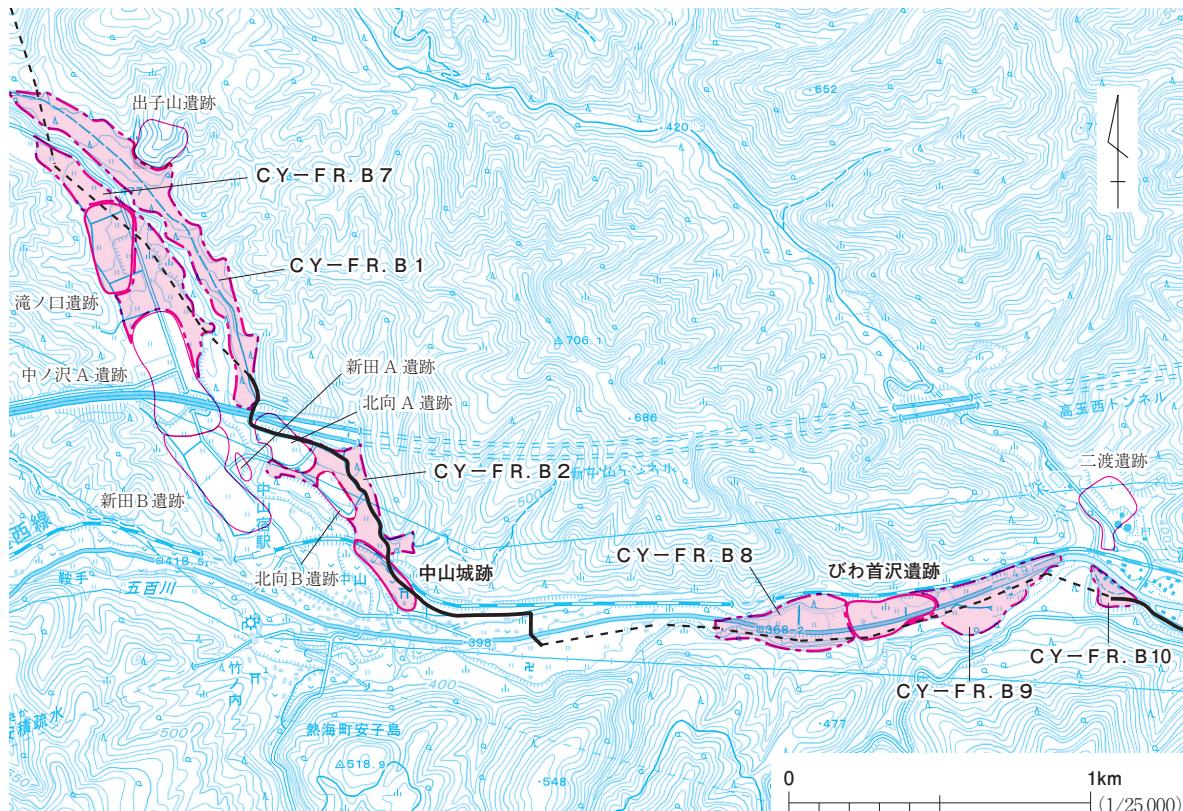


図26 (仮称) 大滝山風力発電事業の遺跡・遺跡推定地

表13 (仮称) 大滝山風力発電事業関連遺跡一覧

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	びわ首沢遺跡	20360012	郡山市熱海町中山字平石	荒地	縄文		400	周知の埋蔵文化財包蔵地
2	滝ノ口遺跡	20360774	郡山市熱海町中山字滝口	水田・山林	縄文・弥生		0	周知の埋蔵文化財包蔵地
3	中山城跡	20360009	郡山市熱海町中山字城ノ脇・北ノ城・松林・稻田・北向	宅地・山林・畑地・水田	古代・中世		155	周知の埋蔵文化財包蔵地
4	並柳遺跡	20360038	郡山市熱海町熱海4丁目	宅地・畑地・果樹園	縄文		175	周知の埋蔵文化財包蔵地
5	熱海遺跡	20360040	郡山市熱海町熱海1~4丁目 熱海町高玉字仲井	宅地・畑地・水田	縄文		660	周知の埋蔵文化財包蔵地
6	切払遺跡	20360041	郡山市熱海町熱海1・2丁目	宅地	縄文		220	周知の埋蔵文化財包蔵地
7	蟹沢遺跡	20360047	郡山市熱海町玉川字蟹沢・中田・冠木	水田・畑地	縄文		250	周知の埋蔵文化財包蔵地
8	坤館跡	20360049	郡山市熱海町安子島字滝ノ上・植松・葉師堂・五輪塔	宅地・山林・水田・畑地	古代・中世		180	周知の埋蔵文化財包蔵地
9	C Y-F R . B 1		郡山市熱海町中山字太平・釜ヶ沢・細平山・細木立・北向	山林	縄文	縄文土器	450	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
10	C Y-F R . B 2		郡山市熱海町中山字北向・城ノ脇	水田・畑地			700	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
11	C Y-F R . B 3		郡山市熱海町熱海1~4丁目、 郡山市熱海町玉川字反田・対面原・ 阿曾沢	宅地・畑地・水田・荒地			2,000	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
12	C Y-F R . B 4		郡山市熱海町玉川字阿曾沢・中田・ 万海田・操井・久保田・遠平・冠木	水田・畑地・荒地・宅地	縄文	縄文土器・土師器・石器	1,500	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
13	C Y-F R . B 5		郡山市喜久田町前田沢字上原、喜久 田町原1・2丁目	水田・畑地・宅地			300	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
14	C Y-F R . B 6		郡山市日和田字朝日坦・沼田・館	宅地・畑	平安		400	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
15	C Y-F R . B 7		郡山市熱海町中山字滝口・中ノ沢・ 新田	山林・水田	縄文	縄文土器・石器	1200	R5 新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
16	C Y-F R . B 8		郡山市熱海町中山樋下・早稲田・米倉・ 北ノ城・稻田・松林・城ノ脇	山林・水田			800	R5 新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
17	C Y-F R . B 9		郡山市熱海町中山二渡・願人沢	山林・水田			800	R5 新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
18	C Y-F R . B 10		郡山市熱海町高玉二渡	山林・宅地			400	R5 新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
合計							10,590	



24 びわ首沢遺跡南部近景（北西から）



25 C Y-F R . B 7 南部近景（南東から）



26 CY-FR. B 8南部近景（北東から）



27 CY-FR. B 10南部（北から）

会社及び磐栄運送株式会社によって事業が進められている。

令和3年度は、731,600m²を対象に分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地9箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地6箇所を設定した（『福島県内遺跡分布調査報告29』）。

令和4年度は、郡山市熱海町の安子島林道区間の7,000m²を対象に分布調査を行った。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地の確認、埋蔵文化財包蔵推定地の設定はできなかった。

本年度は、工事計画が変更されたことに伴い、郡山市熱海町中山・高玉地内の8,800m²を対象とした分布調査を実施した。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所（びわ首沢遺跡・滝ノ口遺跡）が本事業に係ることを確認した他、埋蔵文化財包蔵推定地4箇所（CY-FR. B 7～10）を新たに設定した。

なお、昨年度に提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事計画の変更等により、変動する可能性がある。

第4節 磐越自動車道4車線化事業予定地

磐越自動車道4車線化事業は、混雑期の渋滞の解消、中央分離帯の設置による対向車線飛び出し事故の解消、事故などによる上下線通行止めの減少とともに、規制速度の向上（毎時70～80km）による走行時間の

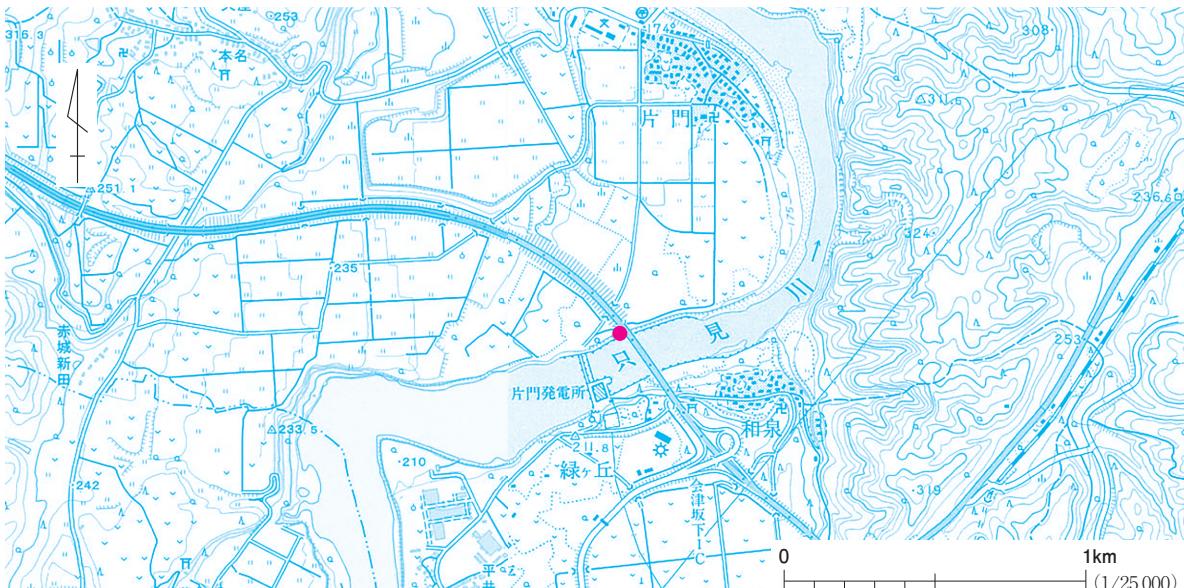


図27 磐越自動車道4車線化事業位置

短縮を図ることが期待されるなど、高速道路の安全性、信頼性や使いやすさ、観光地などへのアクセス向上のため、東日本高速道路株式会社によって早期整備に向けた優先的整備区間の工事が進められている。

本年度は、埋蔵文化財に係る調査の初年度である。事業区間のうち、会津坂下町片門地内の4車線化事業予定地の200m²を対象に分布調査を実施したが、周知の埋蔵文化財包蔵地の確認、埋蔵文化財包蔵推定地の設定はできなかった。

第4章 総括

令和5年度は、試掘・確認調査を5事業(2市2町1村)の周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地で実施した。これらの調査は、令和5年4月中旬から令和6年3月中旬の期間で行った。試掘・確認調査の結果、計2箇所で保存を要する範囲が確定した。なお、保存を要する範囲が確定した会津縦貫北道路の上吉田C遺跡、国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業のIZ-KD4J.B1[踏瀬熊ノ森遺跡]については、令和6年度に発掘調査を実施する予定である。

以下、令和5年度の各事業の試掘・確認調査成果を表14~18にまとめたが、各表・本文中に提示した調査対象面積、保存面積、未試掘面積などは、今後の工事計画変更等により、変動する可能性がある。

1 地域高規格道路(会津縦貫北道路)建設予定地

会津縦貫北道路(若松北バイパス)建設に伴い、埋蔵文化財に係る分布調査は、平成19・28年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地6箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地4箇所を設定した(『福島県内遺跡分布調査報告14・24』)。このうち、AW-B2については、試掘・確認調査の結果、範囲内を南北に流れる第2沼川を境に西側を鶴沼B遺跡、東側を鶴沼C遺跡に変更した(『福島県内遺跡分布調査報告20・21』)。

令和4年度は、鶴沼B遺跡・鶴沼C遺跡・上吉田C遺跡・AW-B8・AW-B9の試掘・確認調査を実施し、鶴沼B遺跡の一部において保存を要する範囲が確定した。

[会津若松市] 本年度の本事業における試掘・確認調査は、上吉田C遺跡(2・3次)、AW-B8(2次)・B9(2次)・B10の4遺跡を実施した。その結果、上吉田C遺跡の一部において保存を要する範囲(600m²)が確定した。この他、AW-B9・10の未試掘範囲については、工区内の削平が著しいことから、調査を行わないことになった。

表14 地域高規格道路(会津縦貫北道路)整備事業関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧(会津若松市)

No.	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内面積(m ²)	年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	継		年度	面積(m ²)	報告書			
1	鶴沼B遺跡		●	30,600	R 4	1次: 2,900	『分布30』	27,700	2,900	H 9 分布調査『県内分布4』 H24 AW-B2→鶴沼B遺跡に変更
2	鶴沼C遺跡	●		200	R 4	1次: 200	『分布20』 『分布21』 『分布30』	0	0	H19 分布調査『県内分布14』 H24 AW-B2→鶴沼C遺跡に変更、調査終了
3	AW-B6		●	14,900	—	—	—	14,900	—	H28 分布調査『県内分布24』
4	鶴沼A遺跡		●	23,000	—	—	—	23,000	—	
5	AW-B7		●	10,400	—	—	—	10,400	—	H28 分布調査『県内分布24』
6	下高野B遺跡		●	7,200	—	—	—	7,200	—	
7	上吉田C遺跡		●	18,600	R 4 R 5	1次: 800 2・3次: 14,700	(6・7頁)	3,100	600	
8	AW-B8		●	23,400	R 4 R 5	1次: 8,300 2次: 1,000	(8・9頁)	14,100	0	H28 分布調査『県内分布24』
9	AW-B9	●		34,400	R 4 R 5	1次: 6,300 2次: 23,300	(8・10頁)	0	0	H28 分布調査『県内分布24』、調査終了
10	AW-B10	●		20,100	R 5	1次: 9,400	(8・11頁)	0	0	H28 分布調査『県内分布24』、調査終了
会津若松市 計		3	3	4	182,800	終了	66,900	100,400	3,500	
R 5							48,400		600	

以上により、会津若松市における地域高規格道路(会津縦貫北道路)建設予定地で令和6年度以降、試掘・確認調査の対象となる周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地は、計7箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積は100,400m²である。

2 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地

会津若松市から下郷町を経由し南会津町に至る地域高規格道路として計画されている会津縦貫南道路は、これまで若松西バイパス、小沼崎バイパス、湯野上バイパス、下郷田島バイパスの4区間で事業が進められてきた。

このうち、下郷町地内の小沼崎・湯野上バイパスについては、平成18・19年度に分布調査を実施し、平成24・26・27・28年度に7箇所、令和2年度に8箇所で試掘・確認調査を行った。これにより、この2つのバイパス区間についての試掘・確認調査は終了した。

【下郷町】 同町地内の下郷田島バイパスに係る試掘調査は、CG-B 14の1箇所で実施した。その結果、保存を要する箇所は確認できなかった。このため、CG-B 14については、本年度で試掘調査を終了した。

以上により、下郷町地内における試掘・確認調査はすべて終了した。

表15 地域高規格道路（会津縦貫南道路）整備事業関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（下郷町・南会津町）

No.	遺跡名	試掘調査			遺跡工区内		年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	継	未	面積(m ²)		年度	面積(m ²)	報告書			
【下郷町】												
1	CG-B 13 [下居平乙]	●			12,000	H 26 H 27 H 29	600 2,800 8,600	『県内分22』 『県内分23』 『県内分25』	0	0 150 1,050	H 29下居平乙遺跡として新規登録 H 29保存(1,050m ²)はH 27未確定の一部を含む H 30(1,200m ²)本発掘調査実施	
2	瀧ノ入	●			7,200	H 27	5,600	『県内分23』	0	4,000	H 28(4,000m ²)本発掘調査実施	
3	栗林	●			10,200	H 24	8,200	『県内分20』	1,850	5,000	H 27(1,600m ²)本発掘調査実施 未試掘1,850m ² はH 30協議により保存と判断 H 30～R 2工区変更による保存面積変更及び本発掘調査実施	
4	CG-B 11	●			7,000	H 27 H 29	4,700 2,000	『県内分23』 『県内分25』	0	0		
5	辻道下	●			3,700	H 27 H 29	700 2,900	『県内分23』 『県内分25』	0	0		
6	辻道	●			900	H 29	2,300	『県内分25』	0	0	同一地形の工区外(1,400m ²)を含め確認調査	
7	CG-B 9	●			5,100	H 29	5,100	『県内分25』	0	0		
8	CG-B 10 [中妻新田]	●			11,000	R2	11,000	『県内分28』	0	2,500	R3(2,500m ²)本発掘調査実施	
9	CG-B 14	●			9,370	R5	9,370	(12・13頁)	0	0		
下郷町 計		9	0	0	57,100	終了	63,870		1,850	12,700		
					R 5	9,370				0	栗林遺跡の未試掘1,850m ² は保存と判断	

【南会津町】

10	MA-B 1		●	9,550				9,550	0	H25・26・29踏査『県内分布29』
南会津町 計		0	0	1	9,550	終了	0	9,550	0	
							0		0	
下郷町・南会津町 合計		10	0	1		終了	63,870		9,550	12,700
							R 5	9,370		0

3 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業予定地

国道4号泉崎・矢吹地区事故対策予定地の埋蔵文化財に係る分布調査は、令和4年度に泉崎村・矢吹町において実施し、泉崎村と矢吹町で新規の埋蔵文化財包蔵推定地1箇所づつを設定した。同年、矢吹町YB-KD4J. B1の試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認できなかった。

【泉崎村】 本年度の同町内における試掘調査は、IZ-KD4J. B1の工区内の一部である4,200m²を対象に実施した。その結果、IZ-KD4J. B1の一部において保存を要する範囲(2,000m²)が確定した。また、今回調査で遺構が確認できなかったトレンチ周囲の未試掘範囲については、調査を行わないことになった。

以上により、本事業予定地内で令和5年度以降、試掘・確認調査の対象となる埋蔵文化財包蔵推定地は計2箇所で、試掘・確認調査が必要な未試掘面積は3,650m²である。

4 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）予定地

阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）は、鏡石町・玉川村・矢吹町の阿武隈川沿川地区を対象とした洪水防御・調整のための遊水地整備を行っている。本事業に係る分布調査は、令和3年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を設定した（『福島県内遺跡分布調査報告29』）。令和4年度の分布調査では、周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認し、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を新たに設定した。また、KI-YS. B1とTG-Y S. B1は、計画変更に伴い対象面積が拡張した。この他、YB-Y S. B1・2は、工区内に砂利採掘範囲が確認されたため、調査面積が縮少した。

令和4年度の試掘・確認調査は矢吹町のYB-Y S. B1を対象に実施したが、保存を要する範囲は確認できなかった。

【矢吹町】 同町地内の遊水地に係る試掘・確認調査は、小松館跡、後原遺跡、YB-Y S. B1・2の4遺跡、50,400m²を対象に実施した。その結果、後原遺跡及びYB-Y S. B1において保存を要する範囲があるが、現段階で部分的な調査のため、今後調査の進展に伴い保存範囲を提示することとした。このため、今年度の要保存範囲については未確定とした。以上により、阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地事業）

表16 国道4号泉崎・矢吹地区事故対策関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（泉崎村・矢吹町）

No.	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内面積(m ²)	年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	継		年度	面積(m ²)	報告書			
【泉崎村】										
1	IZ-KD4J. B1		●	6,000	R 5	4,200	『県内分30』	1,700	2,000	未調査区の一部(100m ²)について調査を行わないこととした
泉崎村 計		0	1	0	6,000	終了	4,200		1,700	2,000
					R 5	4,200				
【矢吹町】										
10	YB-KD4J. B1		●	2,500	R 4	550	(13~15頁)	1,950	0	
矢吹町 計		0	1	0	2,500		550		1,950	0
						0				0
泉崎村・矢吹町 合計		0	2	0	8,500	終了	4,750		3,650	2,000
					R 5	4,200			2,000	

表17 阿武隈川大規模災害関連事業（遊水地事業）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（鏡石町・玉川村・矢吹町）

No.	遺跡名	試掘調査			遺跡工区内		年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考	
		終	継	未	面積(m ²)		年度	面積(m ²)	報告書				
【鏡石町】													
1	正和板碑			●	100	—	—	—	—	100	—	移転が伴う	
2	川原板碑			●	100	—	—	—	—	100	—	移転が伴う	
3	念佛坦遺跡	●			160	—	—	—	—	0	0	R5工事計画の変更により、試掘対象外	
4	KI-YS. B1			●	140,000	—	—	—	—	140,000	—		
5	KI-YS. B2			●	194,000	—	—	—	—	194,000	—		
6	KI-YS. B3	●			40,000	—	—	—	—	0	0	R5工事計画の変更により、試掘対象外	
7	KI-YS. B4			●	3,000	—	—	—	—	3,000	—		
8	KI-YS. B5	●			7,000	—	—	—	—	0	0	R5工事計画の変更により、試掘対象外	
鏡石町 計		3	0	5	384,360	終了				337,200	0		
【玉川村】													
9	糞屋板碑			●	100	—	—	—	—	100	—	移転が伴う	
10	百八横穴古墳群			●	10,600	—	—	—	—	10,600	—		
11	臥龍城跡			●	26,000	—	—	—	—	26,000	—		
12	原作田B・C・E遺跡	●			32,600	—	—	—	—	0	0	工事計画の変更により、試掘対象外	
13	高原遺跡			●	40,300	—	—	—	—	40,300	—		
14	TG-YS. B1			●	39,000	—	—	—	—	39,000	—		
15	TG-YS. B2			●	35,000	—	—	—	—	35,000	—		
16	TG-YS. B3			●	50,000	—	—	—	—	50,000	—		
17	TG-YS. B4			●	54,000	—	—	—	—	54,000	—		
玉川村 計		1	0	8	287,600	終了				255,000	0		
【矢吹町】													
18	川原供養塔			●	100	—	—	—	—	100	—	移転が伴う	
19	小松館跡	●			9,000	R5		2,000	(116頁)	0	0	未調査区(7,000m ²)について調査を行わないこととした	
20	後原遺跡			●	78,000	R5			(17・18頁)			未確定	
21	YB-YS. B1			●	100,000	R4 R5		57,300				未確定	
22	YB-YS. B2	●			60,000	R5	1次:2,500 2次:5,800		(17・21頁)	51,700	0		
23	YB-YS. B3			●	5,000	—	—	—	—	5,000	—		
矢吹町 計		1	3	2	252,100	終了		67,600		177,500			
鏡石町・玉川村・矢吹町 合計		5	3	15	924,060	終了		67,600		769,700			
		R5			50,400								

予定地で令和6年度以降、試掘・確認調査の対象となる埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地は計18箇所あり、その未試掘面積は769,700m²である。

5 一級河川桜川広域河川改修事業予定地

一級河川桜川広域河川改修事業では、河川の掘削及び築堤建設等の治水対策を行っている。本事業の埋蔵文化財に係る分布調査は、令和3年度に郡山市・三春町において実施し、郡山市で周知の埋蔵文化財包蔵地2箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地6箇所を設定した。また、三春町では、周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所を確認し、新規の埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を設定した。

【郡山市】 本年度の同市内における試掘・確認調査は、沖田遺跡で2,600m²を対象に実施した。その結果、保存を要する箇所は確認できなかった。工区内については、河川の影響により著しく削平を受けていることが確認された。このため、未試掘範囲については、調査を行わないこととなった。これにより、本年度で沖田遺跡の確認調査はすべて終了した。

以上により、令和6年度以降、試掘・確認調査の対象となる周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地は計10箇所あるが、工事計画が提示されていないため、工区内面積及び未試掘面積は未定である。

表18 一級河川桜川広域河川改修事業関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（郡山市・三春町）

No.	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内		年度別調査対象面積			未試掘面積(m ²)	保存面積(m ²)	備考
		終	継	未	面積(m ²)	年度	面積(m ²)	報告書			
【郡山市】											
1	石舟遺跡			●	未定				未定		
2	沖田遺跡	●			5,300	R 5	2,600		0	0	削平が著しいため、未調査区2,400m ² の調査を行わないこととした。
3	CY-SG. B 1			●	未定				未定		
4	CY-SG. B 2			●	未定				未定		
5	CY-SG. B 3			●	未定				未定		
6	CY-SG. B 4			●	未定				未定		
7	CY-SG. B 5			●	未定				未定		
8	CY-SG. B 6			●	未定				未定		
郡山市 計		1	0	7	5,300	終了	2,600		※ 0		※未試掘であるが、調査を行わないと判断した沖田遺跡(2,400m ²)を除いた面積
						R 5	2,600				

【三春町】

9	上舞木後田遺跡			●	未定				未定		
10	MH-SG. B 1			●	未定				未定		
11	MH-SG. B 2			●	未定				未定		
三春町 計		0	0	3	0		0		未定		
									0		
郡山市・三春町 合計		1	0	10	5,300	終了	2,600		0		
						R 5	2,600		0		

6 埋蔵文化財包蔵地の登録と変更

本報告における分布調査及び試掘・確認調査の結果、1件の埋蔵文化財包蔵地を新たに周知し、2件の埋蔵文化財包蔵地の範囲が広がることを確認した。今後は、以下の内容に基づいて埋蔵文化財の保護を行う。

[泉崎村]

ふま せくま もり いせき
踏瀬熊ノ森遺跡(泉崎村踏瀬字熊ノ森)

国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業予定地内で、埋蔵文化財包蔵推定地 I Z - K D 4 J. B 1 の試掘調査を実施したところ、古墳時代と考えられる土坑や小穴を確認した。埋蔵文化財の広がりが予想される範囲については、今回の調査範囲と同一地形の範囲を含めて周知の埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。登録面積は、12,300m²である。

[玉川村]

ひやくはちよこあな こ ふんぐん
百八横穴古墳群(玉川村竜崎字松ヶ作)

阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)予定地において分布調査を実施したところ、これまで周知されていた百八横穴古墳群の範囲の北側にも横穴墓が確認されたことから、範囲を変更することとした。

がりゅうじょうあと
臥龍城跡(玉川村竜崎字松ヶ作)

臥龍城跡は、周知された範囲の外側にも同城に関わる遺構の存在が指摘されていることから(三島2007)、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)の事業予定地における分布調査の際にあらためて範囲確認を行った。その結果、城跡に伴う平場、堀跡、土塁、虎口を確認した。このため周知の範囲を変更することとし、遺構が広がる範囲を同城跡の範囲とした。

表19 埋蔵文化財包蔵地(新規・変更)一覧

市町村コード	遺跡コード	遺跡名	所在地	登録概要	種別	時代	面積	備考
4641	0082	踏瀬熊ノ森遺跡	泉崎村踏瀬字熊ノ森	新規登録	散布地	古墳時代	12,300m ²	I Z - K D 4 J. B 1 の一部を含む範囲を登録
5027	0017	百八横穴古墳群	玉川村竜崎字松ヶ作	変更	古墳	古墳時代	10,600m ²	範囲を変更
5027	0018	臥龍城跡	玉川村竜崎字松ヶ作	変更	城館跡	中世	81,300m ²	範囲を変更

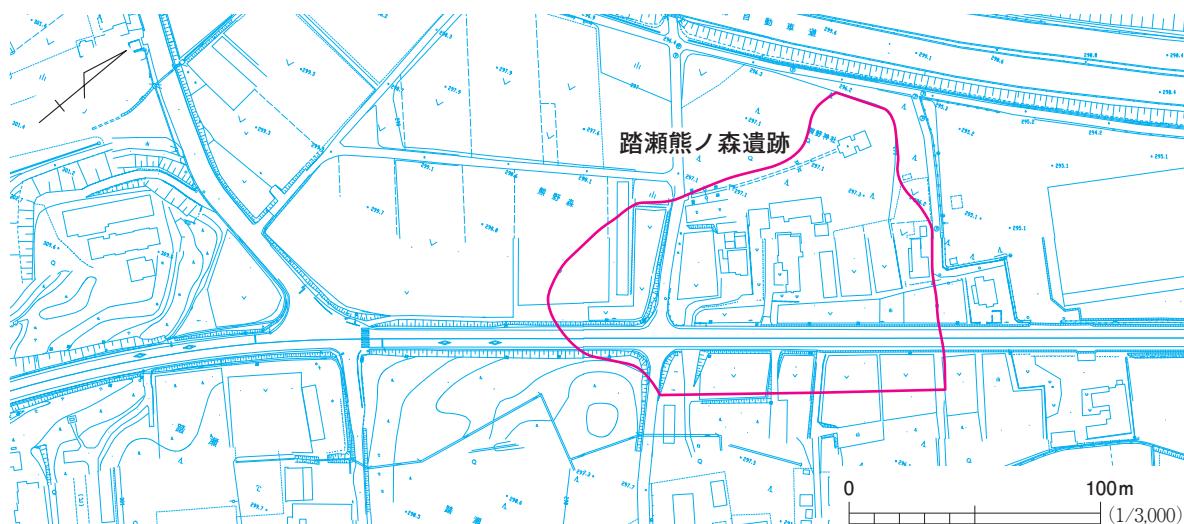


図28 踏瀬熊ノ森遺跡の範囲

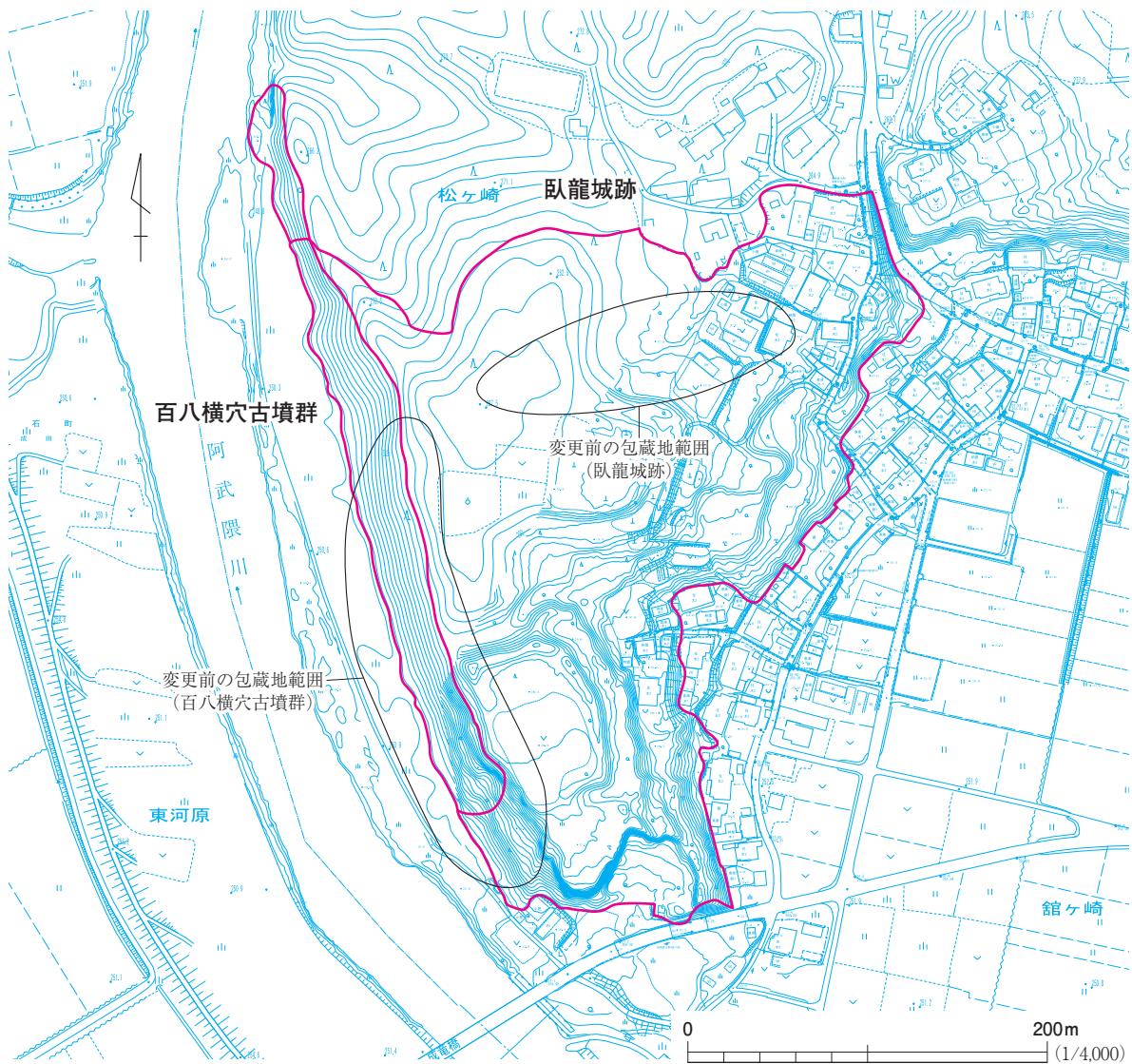


図29 百八横穴古墳群・臥龍城跡の範囲

参考文献

- 三島正之 2007 「戦国の争乱と石川氏 龍崎城」『玉川村史普及版』玉川村教育委員会
- 福島県教育委員会 1990 『東北横断自動車道遺跡発掘調査報告9』
- 福島県教育委員会 2013 『福島県内遺跡分布調査報告20』
- 福島県教育委員会 2014 『福島県内遺跡分布調査報告21』
- 福島県教育委員会 2014 「鶴沼B遺跡(1次)」『会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告14』
- 福島県教育委員会 2014 「鶴沼C遺跡」『会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告15』
- 福島県教育委員会 2016 「鶴沼B遺跡(2次)」『会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告16』
- 福島県教育委員会 2017 『福島県内遺跡分布調査報告24』
- 福島県教育委員会 2022 『福島県内遺跡分布調査報告29』
- 福島県教育委員会 2024 『福島県内遺跡分布調査報告30』

報告書抄録

ふりがな	ふくしまけんないいせきぶんぶちょうさほうこく 31							
書名	福島県内遺跡分布調査報告 31							
シリーズ名	福島県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第565集							
編著者名	福島県教育庁文化財課：轡田克史 岡部睦美 公益財団法人福島県文化振興財団：國井秀紀 本名韻基							
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111							
発行年月日	2025年3月21日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯 ^{*1}	東経 ^{*1}	発掘期間	発掘面積 ^{*2} m ²	発掘原因	
市町村	遺跡番号							
かみよしだ 上吉田C遺跡	ふくしまけんあいづわかまつしこうやまちかみこうや 福島県会津若松市高野町上高野 あざむらじ 字村西	07202	00248	37° 31' 52"	139° 54' 6"	20230410～20230414 20231113～20231208	688.3	確認調査
AW-B 8	ふくしまけんあいづわかまつしまちなかまちわ 福島県会津若松市町北町中沢 あざなかじ 字中地	07202	なし	37° 31' 48"	139° 54' 5"	20231113～20231208	40	試掘調査
AW-B 9	ふくしまけんあいづわかまつしこうごしまち 福島県会津若松市神指町 えのきだん まちきたまちなかまちわあざむかいかいわはら 榎木原・町北町中沢字向川原	07202	なし	37° 31' 21"	139° 53' 50"	20231113～20231208	648	試掘調査
AW-B 10	ふくしまけんあいづわかまつしこうごしまちおおあざ 福島県会津若松市神指町大字 たかせ 高瀬	07202	なし	37° 30' 58"	139° 53' 53"	20231113～20231208	230.5	試掘調査
CG-B 14	ふくしまけんみなみあいづぐんしきこまちおちあい 福島県南会津郡下郷町落合	07362	なし	37° 13' 5"	139° 50' 38"	20230703～20230707	302.3	試掘調査
I Z - K D 4 J . B 1	ふくしまけんにしらかわぐいんづむわら 福島県西白河郡泉崎村 おあざみせ 大字踏瀬	07464	なし	37° 10' 58"	140° 17' 20"	20230605～20230607	138	試掘調査
こまつ 小松館跡	ふくしまけんにしらかわぐんやぶきまちんがおか 福島県西白河郡矢吹町陣ヶ岡	07466	00106	37° 12' 56"	140° 23' 54"	20230219～20230315	127.5	確認調査
うしろはら 後原遺跡	ふくしまけんにしらかわぐんやぶきまちやなか 福島県西白河郡矢吹町谷中	07466	00069	37° 12' 27"	140° 23' 28"	20230219～20230315	342	確認調査
Y B - Y S . B 1	ふくしまけんにしらかわぐんやぶきまちやなか 福島県西白河郡矢吹町谷中・ なかおき ひがしあわら 中沖・東川原	07466	なし	37° 12' 38"	140° 23' 29"	20231023～20231027 20240219～20240315	937.4	試掘調査
Y B - Y S . B 2	ふくしまけんにしらかわぐんやぶきまち 福島県西白河郡矢吹町 ひがしあわら 東川原	07466	なし	37° 12' 51"	140° 23' 42"	20231023～20231027 20240219～20240315	165	試掘調査
おきた 沖田遺跡	ふくしまけんこおりやましふくやま まちかこいすみ 福島県郡山市富久山町北小泉	07203	00877	37° 25' 23"	140° 24' 58"	20231213～20231220	83.7	確認調査
特記 事項	会津縦貫北道路(若松北バイパス)建設予定地内(会津若松市)の上吉田C遺跡の一部で確認調査を実施したところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したため、建設予定地内の600mを保存を要する範囲とした。 また、国道4号泉崎・矢吹地区事故対策予定地内(泉崎村)のI Z - Y S . B 1の一部で試掘調査を実施したところ、古墳時代の土坑と小穴及び遺物包含層を確認したため、建設予定地内の2,000m ² を保存を要する範囲とした。							
要項	福島県教育委員会が令和5年度に実施した、地域高規格道路(会津縦貫北道路・会津縦貫南道路)整備事業、国道4号泉崎・矢吹地区事故対策事業、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)、一級河川桜川広域河川改修事業予定地内の周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地を対象とする試掘・確認調査、並びに、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地事業)、一級河川桜川広域河川改修事業、(仮称)大滝山風力発電事業、磐越自動車道4車線化事業予定地を対象とする分布調査の報告書である。 5事業の計114,970m ² を対象とした試掘・確認調査の結果、周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地1箇所の合計面積2,600m ² について保存が必要と判断した(表1～5参照)。							

* 1 緯度数値は世界測地系(平成14年4月1日から適用)による。 * 2 トレンチ掘削面積を示す。

福島県文化財調査報告書第 565 集

福島県内遺跡分布調査報告 31

令和 7 年 3 月 21 日発行

発 行 福島県教育委員会

〒960-8688 福島市杉妻町 2-16

印 刷 株式会社山川印刷所

〒960-2153 福島市庄野字清水尻 1-10